



2022年5月12日

各 位

会 社 名 第一生命ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 稲垣 精二
(コード番号：8750 東証プライム)
問合せ先 経営企画ユニット IRグループ
(TEL 050-3780-6930)

2022年3月期 決算補足資料 (第一生命ホールディングス株式会社分)

2022年3月期 決算報告

2022年5月12日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

● 本日のポイント	P.2
● グループ各社の業績概要	P.11
● グループEEV	P.20
● 参考データ	P.26

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2022/3末	122.39円	136.70円	92.00円
2021/12末	115.02円	130.51円	83.42円
2021/3末	110.71円	129.80円	84.36円
2020/12末	103.50円	126.95円	78.84円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内生命保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	
DFL	第一フロンティア生命		100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	1-12月
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	
その他事業(アセットマネジメント事業)				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(議決権) 30%(経済持分)	4-3月



本日のポイント

2022/3期業績

利益指標は過去最高益、グループ修正利益は一時的な資産運用収益の改善等から想定を上回る増加

利益	グループ修正利益	2,961億円
	連結純利益	4,093億円
資本効率	グループ修正ROE	8.0%
	グループROEV	4.9%
新契約	グループ新契約ANP	3,131億円
	グループ新契約価値	1,266億円

- ▶ 前期比+5%: DLや米PLCの資産運用収益の改善等が貢献し、11月修正予想を上回る
- ▶ 前期比+13%: 修正利益の増加に加え、海外金利上昇に伴うDFLのMVA関連損益の改善等が寄与
- ▶ 前期比△0.9%pt: 修正利益の増加と自己株式取得がプラス貢献した一方、含み益の増加等が影響
- ▶ 海外金利上昇やDLにおける保険前提の見直し等が影響(DL単体ROEV1.2%)
- ▶ 前期比+32%、前々期比(豪TAL大型団体保険の影響を除く)+6% ※為替調整後: コロナ前となる前々期比は、DL△17%と回復途上、DFLの回復や堅調なNFL・海外が寄与
- ▶ 前期比△0.4%: DL・DFLの減少を海外各社が補い、11月修正予想水準並みを確保

2023/3期予想

前期の資産運用収益の反動減等により、グループ修正利益は2,700億円程度を見込む

利益	グループ修正利益	2,700億円程度
新契約	グループ新契約価値	1,540億円程度

- ▶ DL・米PLCにおける前期の資産運用収益の反動減等が影響
- ▶ DLにおける商品ミックスの改善や他グループ各社での新契約増加を見込む

株主還元

上限1,200億円の自己株式取得を決定、23/3期1株あたり配当金は86円の増配予想

2022/3期	1株あたり配当金	83円
	自己株式取得	上限1,200億円
23/3期予想	1株当たり配当金	86円

- ▶ グループ修正利益の過去3年平均に対し、配当性向30%を前提に予定(前期比+21円)
- ▶ 資本充足率(225%)やキャッシュの状況(約2,000億円)、戦略的な投資機会等を踏まえて決定
- ▶ グループ修正利益予想を踏まえ、配当性向30%を前提に自己株式取得後の想定株式数を考慮して判断

新型コロナに関連した 保険金等のお支払いの状況

	死亡保険金(給付金)		入院給付金等	
	件数	金額	件数	金額
国内グループ会社	2,494件	約146億円	110,142件	約119億円
海外グループ会社	17,143件	約811億円	28,866件	約20億円

※集計開始(2020年3月)からの累計、2022年3月31日時点での判明分
海外グループ会社は3月末為替レート(TTM)にて円換算、再保険考慮後

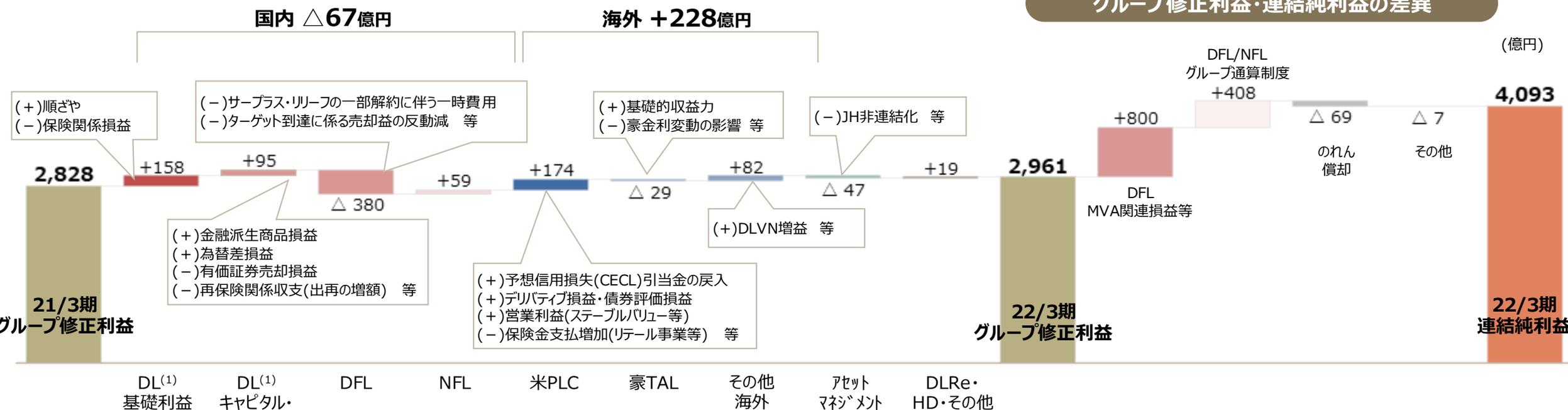


決算のポイント – 利益：グループ修正利益・連結純利益

- ▶ DLの順ざや増加やキャピタル損益の改善、米PLCやDLVN等の増益が寄与し、グループ修正利益は前期比+5%の2,961億円
なおDLは、国内金利上昇に伴う出再条件の改善等を踏まえ、下期に責任準備金約2,000億円(11月予想比+1,000億円増額し、年度累計5,000億円)を出再
- ▶ 連結純利益は、DFLにおけるMVA関連損益の改善のほか、グループ通算制度導入に伴う一時益等が加わり、前期比+13%の4,093億円

グループ修正利益・前期比変動要因

グループ修正利益・連結純利益の差異



(グループ修正利益からの増減金額)

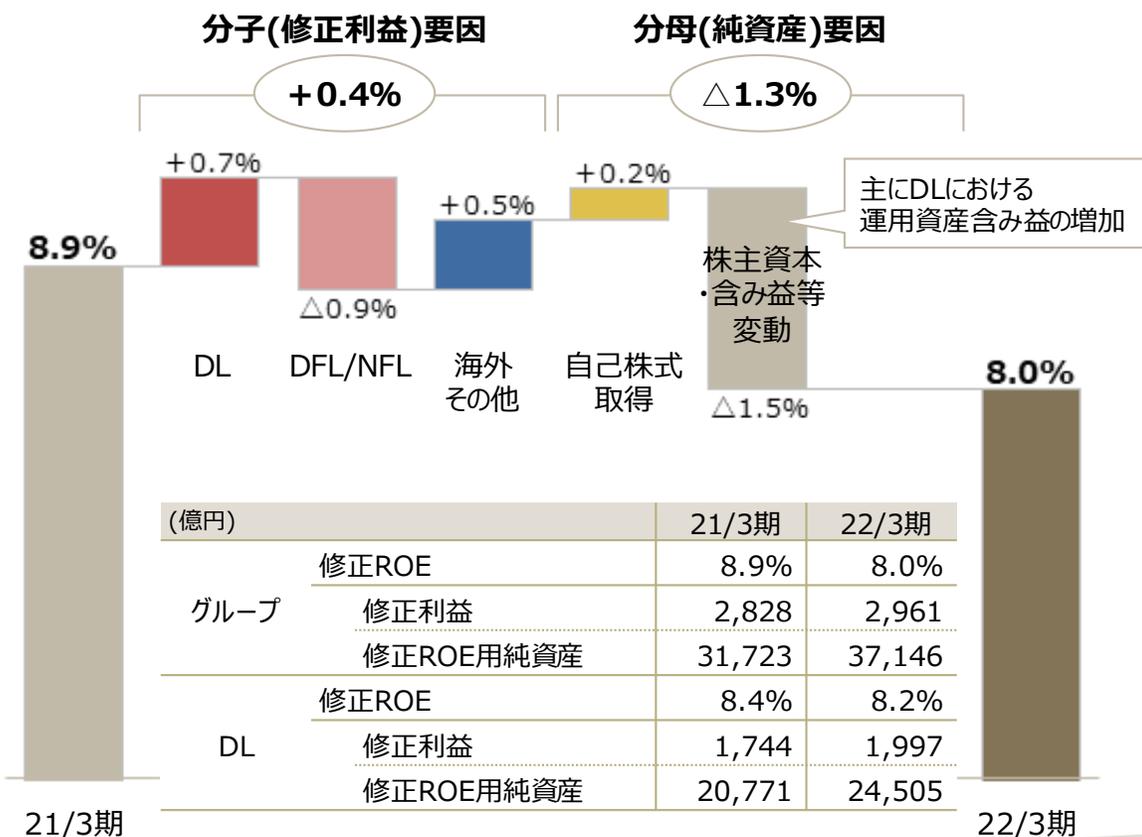
	DL ⁽¹⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾ キャピタル・臨時損益等	DFL	NFL	米PLC	豪TAL	その他海外	アセットマネジメント	DLRe・HD・その他	グループ修正利益	DFL MVA関連損益等	DFL/NFLグループ通算制度	のれん償却	その他	連結純利益
22/3期	4,964	$\Delta 2,966$	190	$\Delta 81$	549	123	158	52	$\Delta 28$	2,961	+800	+408	$\Delta 69$	$\Delta 7$	4,093
21/3期	4,805	$\Delta 3,061$	571	$\Delta 141$	374	152	75	99	$\Delta 47$	2,828	+292	-	$\Delta 57$	+574	3,637

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています

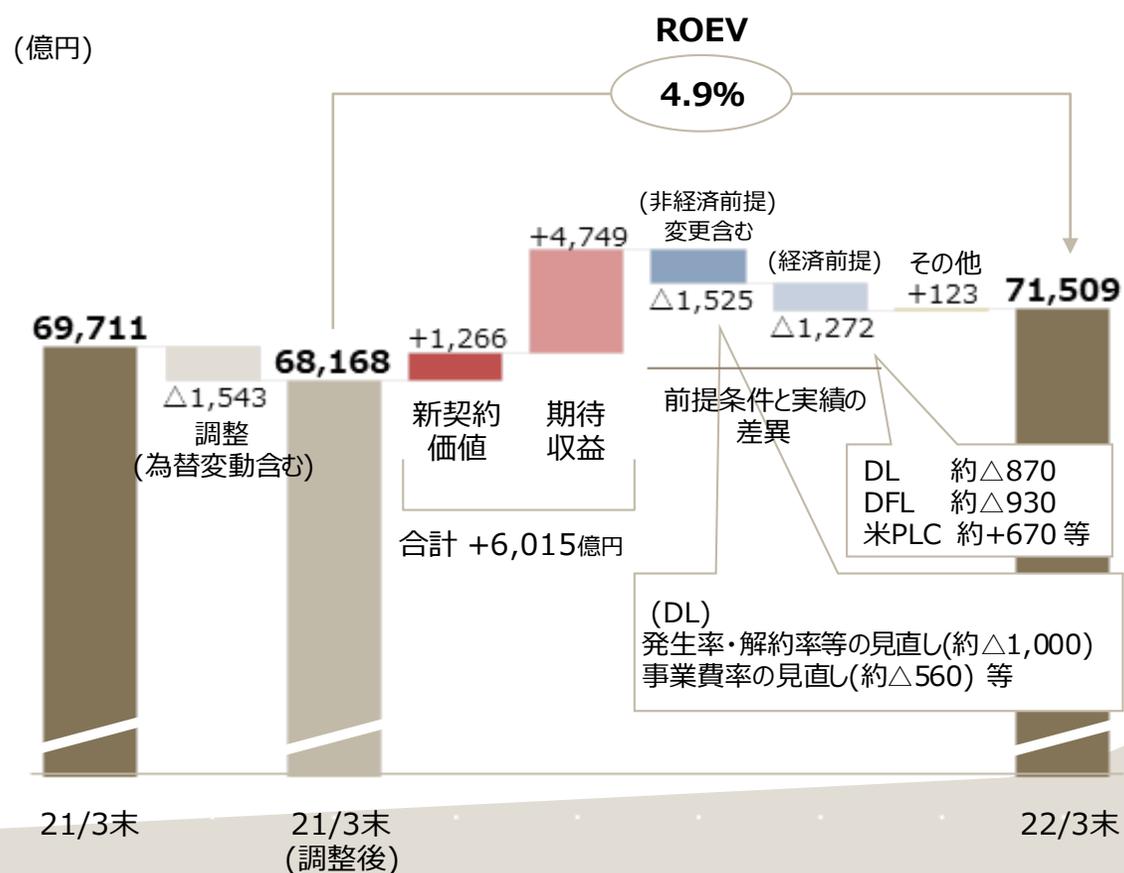
決算のポイント – 資本効率：グループ修正ROE・グループROEV

- ▶ グループ修正ROEは、DL及び海外における修正利益の増加や自己株式取得がプラス寄与した一方、前々期(20/3末)より株式市場が回復基調に推移する中、DLのリスク性資産の含み益増加等が影響し、前期比△0.9%pt低下の8.0%
- ▶ グループROEVは、海外子会社は米PLCを中心に増加したものの、海外金利上昇が含み益の減少を通じてDL・DFLのEEVを押し下げたほか、DLにおける保険前提の見直しが影響し、4.9%

グループ修正ROE



グループROEV

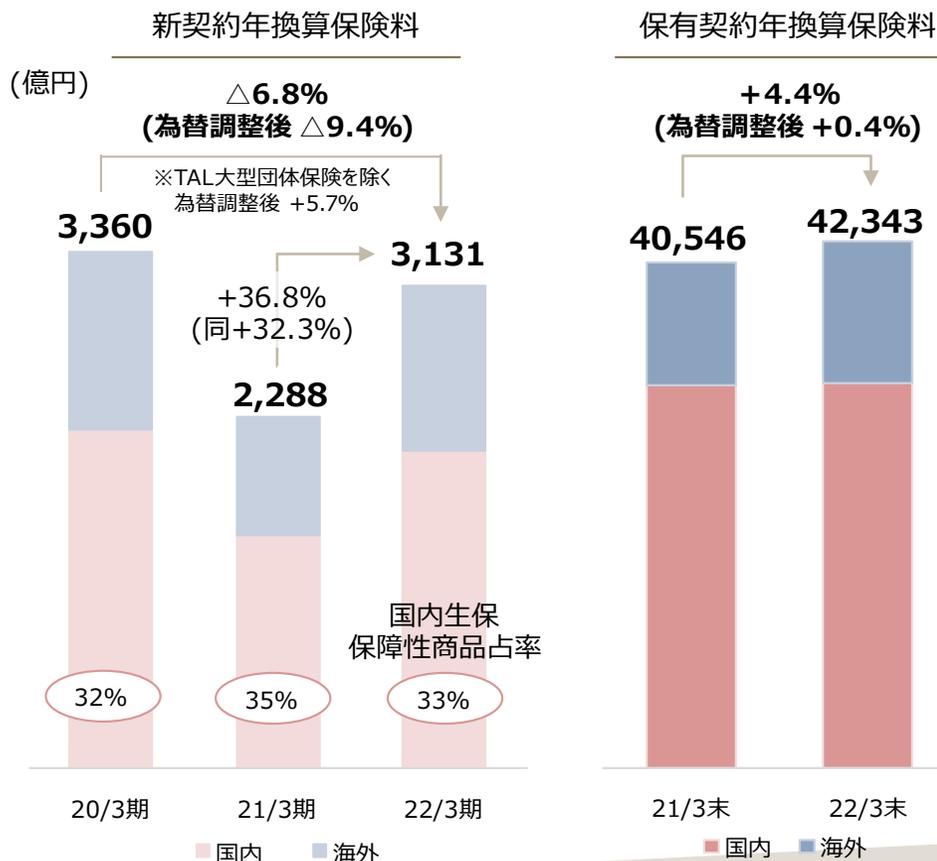




決算のポイント – 新契約：新契約・保有契約年換算保険料

- ▶ 国内では、海外金利の上昇もあり、DFLが下期に販売量の増加が見られたほか、NFLでは改定を行った主力商品の医療保険の販売好調が寄与し、堅調に推移 DLは「入院一時金保険(限定告知型)」の販売好調等により、販売件数に占める既契約者の保障見直し占率が緩やかに低下傾向にあるものの、引き続き回復途上
- ▶ 海外では、米PLCが法人向け商品や変額年金等の販売が好調、豪TALも個人向け商品を中心に堅調に推移し、DLVNは銀行等のオルタナティブチャンネルが牽引 前々期比は、豪TALが前々期に獲得した超大型の団体保険の影響を除けば増加しており、グループ全体で+6%増加

新契約・保有契約年換算保険料(ANP)の状況



(億円)	新契約年換算保険料				保有契約年換算保険料		
	21/3期	22/3期	前期比	前々期比	21/3末	22/3末	前期末比
国内3社計	1,512	2,067	+36.7%	△6.2%	30,785	30,901	+0.4% (△1.4%)
DL	616	745	+21.0%	△16.8%	20,769	20,527	△1.2%
うち第三分野	367	482	+31.6%	△11.8%	6,968	7,088	+1.7%
DFL	775	1,179	+52.1%	△1.6%	8,610	8,983	+4.3%
うちDLチャンネル販売	138	231	+67.5%	△20.8%			(△2.1%)
NFL	120	142	+17.8%	+29.8%	1,405	1,390	△1.1%
うちDLチャンネル販売 ⁽¹⁾	62	75	+20.3%	+100.5%			
海外5社計	775	1,063	+37.0% (+23.6%)	△8.0% (△15.5%)	9,760	11,441	+17.2% (+6.3%)
PLC	411	632	+53.7% (+38.3%)	+62.1% (+54.4%)	5,187	5,979	+15.3% (+3.7%)
TAL ⁽²⁾	129	139	+7.4% (△1.5%)	△74.6% (△81.7%)	3,840	4,497	+17.1% (+7.4%)
DLVN	232	288	+24.1% (+11.7%)	+33.5% (+25.5%)	731	961	+31.4% (+18.3%)
DLKH/DLMM	1.5	2.0	+32.9% (+27.5%)	+528.3% (+530.1%)	1.4	2.9	+101.8% (+102.3%)
第一生命グループ計	2,288	3,131	+36.8% (+32.3%)	△6.8% (△9.4%)	40,546	42,343	+4.4% (+0.4%)

増減率の下段()は為替変動の影響を除く変化率

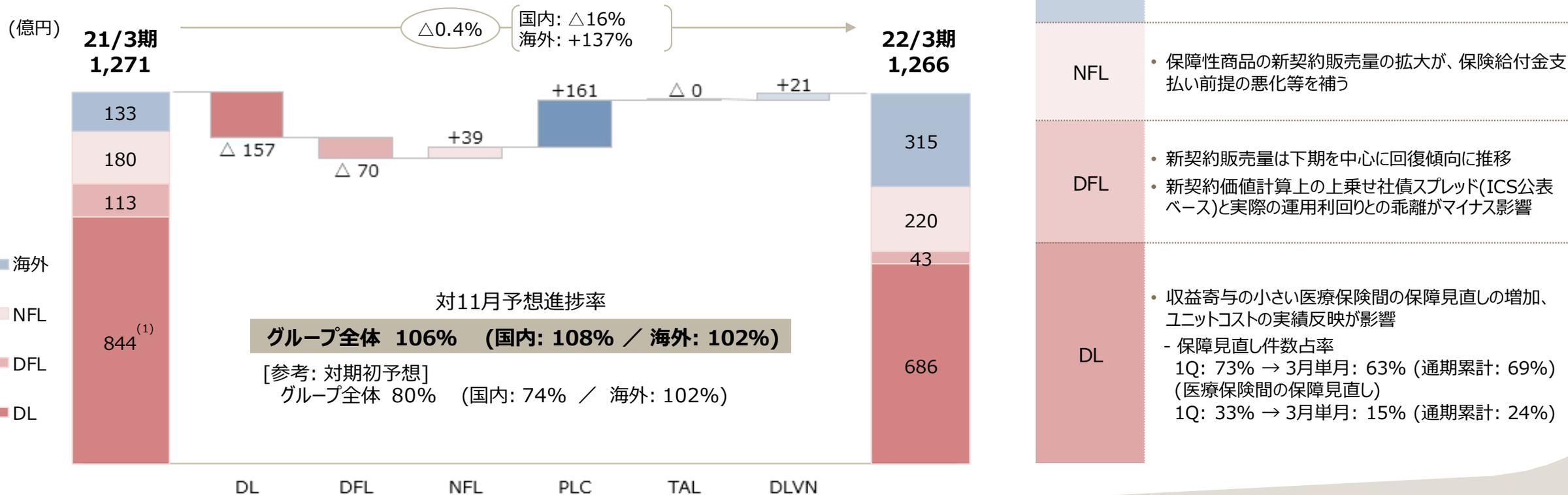
(1) 21/3期3QよりNFLにおけるDLチャンネル販売分の計測方法の精緻化を反映 (2) 21/3期1Qより新契約年換算保険料の計上基準を変更しており、いずれも過年度の数値を併せて修正しています



決算のポイント – 新契約：グループ新契約価値

- ▶ グループ新契約価値は、DL・DFLの減少を堅調なNFL・海外各社が補い前期比ほぼ横ばい、11月修正予想水準は確保
- ▶ DLは、営業活動量は前年度から回復も、収益寄与の小さい保障見直し(転換)の増加とユニットコストの実績反映が影響(医療保険間の保障見直しは減少傾向に推移)
DFLは、海外金利上昇の中で販売量は改善傾向にあるが、計算上の社債運用スプレッド(ICS公表ベース)が実際の運用利回りよりも低く、新契約価値は低位に留まる
- ▶ 海外は、PLC・TAL・DLVN各社で着実に新契約を維持・拡大し、前期比+137%

グループ新契約価値・グループEEVの変動要因



(1) 21/3期のDL新契約価値は、コロナ禍の特殊な状況に鑑み、生涯設計デザイナーの給与補償と営業関連固定費の一部(合計約570億円)を新契約価値計算上の費用に含めず、EEVの修正純資産より直接控除する取扱いを実施

2023年3月期 通期業績予想



▶ グループ修正利益は、DL・米PLCにおける前期の資産運用収益の反動減等の影響により、2,700億円程度を予想

2023年3月期 通期業績予想

(億円)	23/3期 通期予想	22/3期 通期実績比	(%)
連結経常収益	76,120	△ 5,977	△ 7%
第一生命	35,630	△ 8,878	△ 20%
第一フロンティア生命	21,050	△ 1,096	△ 5%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	9,750	△ 3,650	△ 27%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	7,680	+ 1,275	+ 20%
連結経常利益	5,120	△ 788	△ 13%
第一生命	3,830	+ 40	+ 1%
第一フロンティア生命	590	△ 641	△ 52%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	340	△ 238	△ 41%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	260	+ 96	+ 59%
連結純利益⁽²⁾	2,850	△ 1,243	△ 30%
第一生命	1,870	△ 127	△ 6%
第一フロンティア生命	450	△ 936	△ 68%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	280	+ 2	+ 1%
豪TAL (百万豪ドル) ⁽¹⁾	180	+ 53	+ 43%
グループ修正利益	2,700程度	△ 261	△ 9%
グループ新契約価値	1,540程度	+ 273	+ 22%
1株あたり配当金(円)	86	+ 3	+ 4%
(参考)基礎利益 ⁽³⁾	[改正後] 4,200程度	△ 1,301	△ 24%
うち第一生命	[改正後] 3,000程度	△ 1,076	△ 26%

[参考] 2022年3月期実績・対業績予想

21/3期 通期実績	22/3期 通期実績	前期比	(%)	22/3期 通期予想(11月)	対通期予想 進捗率
78,278	82,097	+ 3,819	+ 5%	72,320	114%
38,117	44,508	+ 6,391	+ 17%	40,550	110%
22,171	22,146	△ 24	△ 0%	15,890	139%
12,107	13,400	+ 1,292	+ 11%	12,400	108%
6,267	6,404	+ 136	+ 2%	6,520	98%
5,528	5,908	+ 380	+ 7%	5,200	114%
3,737	3,789	+ 51	+ 1%	3,780	100%
1,147	1,231	+ 83	+ 7%	680	181%
461	578	+ 116	+ 25%	500	116%
253	163	△ 90	△ 36%	150	109%
3,637	4,093	+ 455	+ 13%	3,490	117%
1,960	1,997	+ 37	+ 2%	2,000	100%
863	1,386	+ 523	+ 61%	920	151%
362	277	△ 84	△ 23%	410	68%
171	126	△ 45	△ 27%	100	126%
2,828	2,961	+ 133	+ 5%	2,700程度	110%
1,271	1,266	△ 5	△ 0%	1,190程度	106%
62	83	+ 21	+ 34%	80	104%
6,232	6,389	+ 157	+ 3%	5,600程度	114%
	[改正後] 5,501				
4,805	4,964	+ 158	+ 3%	4,500程度	110%
	[改正後] 4,076				

(1) 米PLCおよび豪TALの数値は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

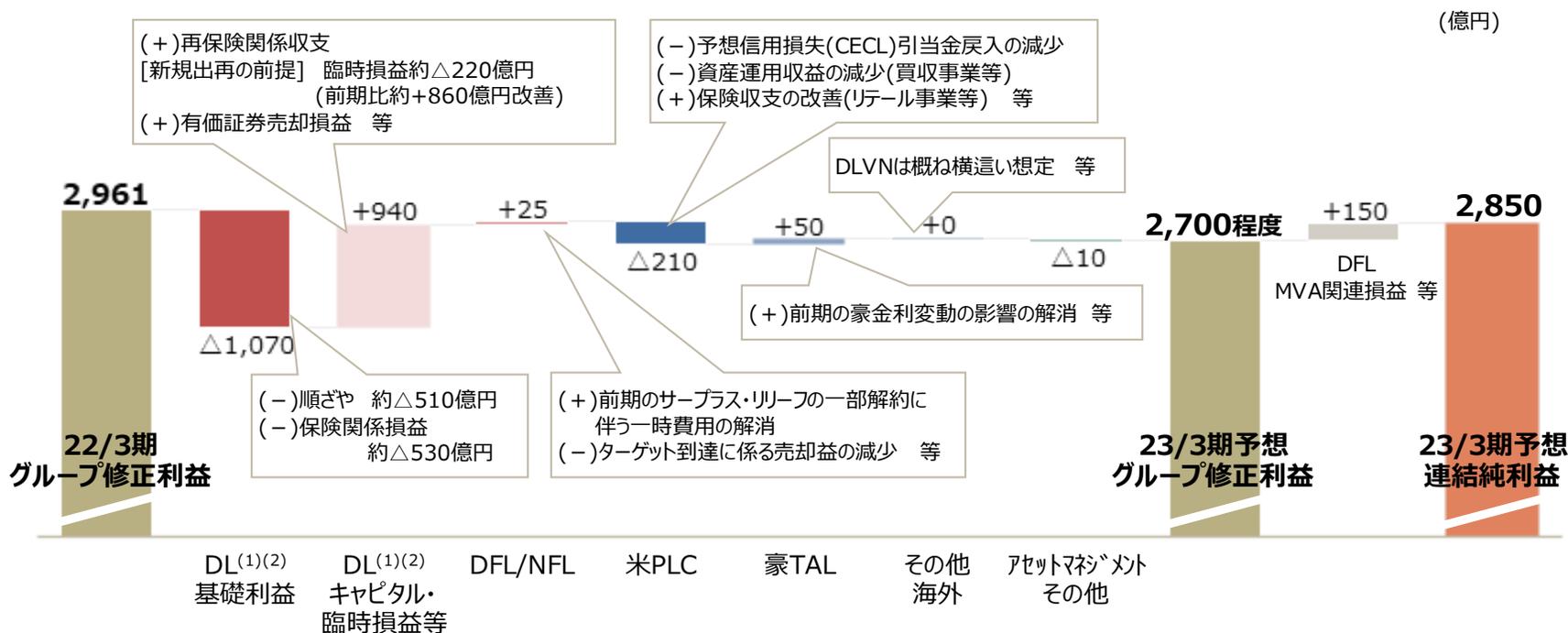
(2) 親会社株主に帰属する当期純利益 (3) 算定方法の改正を踏まえ、23/3期通期予想は改正後基準で記載し、22/3期通期実績比は改正後基準で比較



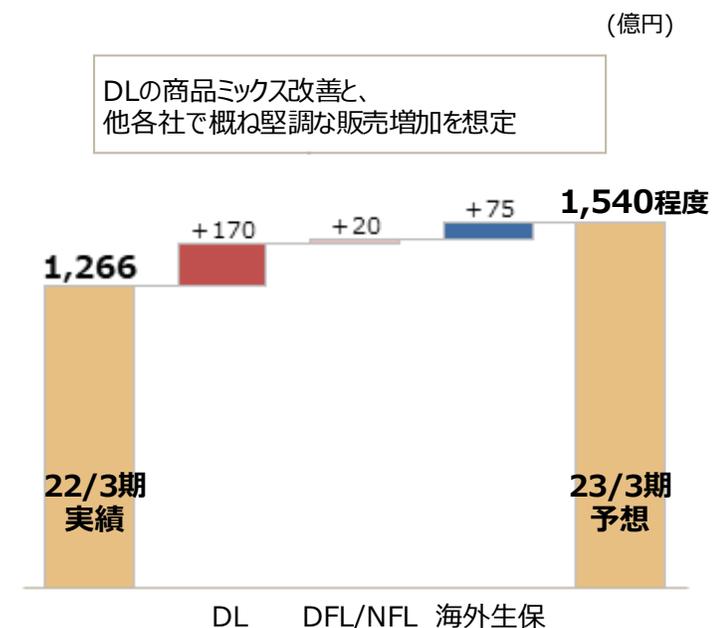
2023年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想

- ▶ DLはヘッジコスト上昇や新型コロナの保険金支払等に伴う基礎利益の減少を、再保険関係収支や有価証券売却損益の改善が補う想定金利動向や前期での出再規模の拡大等を踏まえ、23/3期の新規出再は責任準備金約1,000億円程度を予算上織り込み
- ▶ 米PLCは、コロナに伴う保険金支払状況等に一定の改善を想定するものの、前期の一時的な資産運用収益の反動減が影響
- ▶ グループ新契約価値は、DLの収益寄与の小さい保障見直しの減少等による商品ミックスの改善や他各社の販売増加を想定

グループ修正利益予想・前期比変動要因



グループ新契約価値予想・前期比変動要因



	DL ⁽¹⁾⁽²⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾⁽²⁾ キャピタル・臨時損益等	DFL/NFL	米PLC	豪TAL	その他 海外	アセットマネジメント その他	23/3期予想グループ修正利益	DFL MVA関連損益 等	23/3期予想連結純利益
23/3期予想	3,000程度	△1,130	135	340	175	160	15	2,700程度	+150	2,850
22/3期	4,076	△2,078	108	549	123	158	23	2,961	+1,132	4,093

	DL	DFL/NFL	海外生保	23/3期予想
23/3期予想	860	285	390	1,540程度
22/3期実績	686	263	315	1,266

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています
 (2) 23/3期予想・22/3期ともに基礎利益の算定方法の改正後の基準により記載

- ▶ 22/3期の株主還元は、グループ修正利益の過去3年平均に対する30%を配当性向として、1株あたり配当金83円(前期比+21円)を予定し、追加還元として、上限1,200億円とする自己株式取得を決定 (単年度利益に対する総還元性向は69%)
- ▶ 23/3期の1株あたり配当金は、配当性向30%以上を前提に、自己株式取得に伴う発行済株式総数の減少を考慮し、86円(前期比+3円)を予想

株主還元

[自己株式消却方針] 用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

22/3期 株主還元

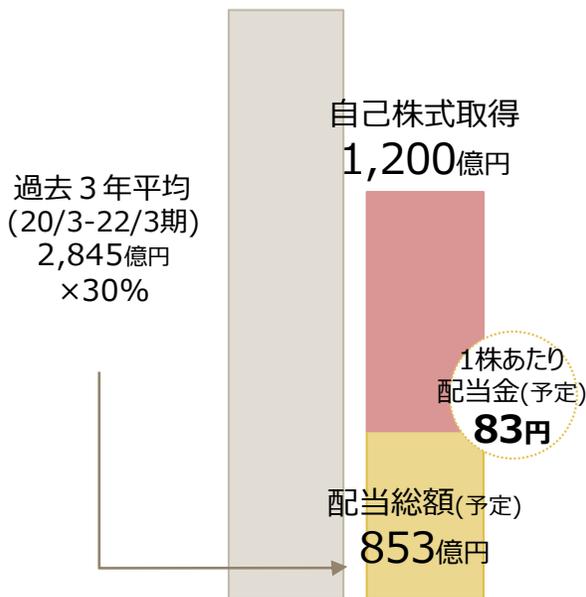
23/3期 株主還元予想

配当性向30%の現金配当(予定)に加え、自己株式取得上限1,200億円を決定

1株あたり配当金は、86円への増配を見込む

グループ修正利益
2,961億円

グループ修正利益予想
2,700億円程度



自己株式取得

- 以下の状況を踏まえ、自己株式取得上限1,200億円を決定
 - 資本充足率(ESR) : 225%(概算値)
 - 持株会社キャッシュ : 約2,000億円(22/3末)⁽¹⁾
 - 子会社からの送金 : 前期比で送金率の上昇を想定
 - 戦略的な投資機会や当社株価の状況など

現金配当

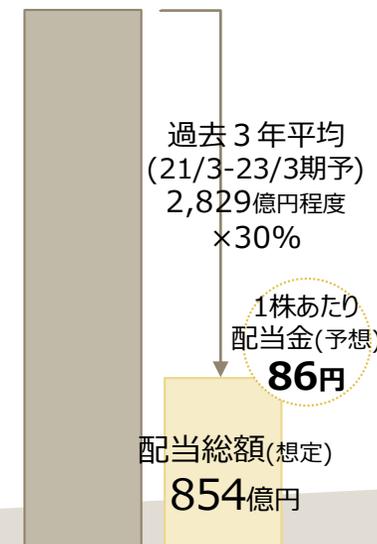
- 配当性向30%と前期に実施した自己株式取得後の発行済株式総数を反映し、1株あたり配当金は83円(前期比+21円)

追加還元

- 今後の資本充足率の水準等を踏まえ、機動的・柔軟な追加還元を検討 (総還元性向の目安: 中期平均50%)

現金配当

- 配当総額(想定)・1株あたり配当金(予想)は、以下を前提とする
 - 配当性向 : 30%以上 (グループ修正利益の過去3年平均に対し)
 - 発行済株式総数 : 994百万株程度 (自己株式を除く)



(1) 中間持株会社におけるキャッシュ残高を含む



[参考] 基礎利益の算定方法改正の反映について

- ▶ 23/3期において、経済的な実態の反映および保険会社間の取扱いに一貫性を持たせる観点から、基礎利益の算定方法の改正が予定されている。当社グループの通期業績予想の基礎利益は本改正を反映しており、1Qより改正後基準により基礎利益の開示等を行う予定
- ▶ 前期実績に本改正を反映した場合、基礎利益(順ざや)が△887億円減少するが、経常利益・当期損益、当社グループの実質的な収益力を示す修正利益に変動はない

基礎利益の改正に伴う変動額

改正に伴う変動額(DL単体22/3期実績)

(億円)	[改正前]	改正に伴う変動額(DL単体22/3期実績)		[改正後]	
	22/3期		22/3期	差異	
基礎利益	4,964		4,076	△ 887	
うち順ざや	2,195	[順ざやから除外 → キャピタル損益へ計上]	1,307	△ 887	
うち保険関係損益	2,768	①投資信託の解約損益 460 +626	2,768	-	
キャピタル損益	685	②有価証券償還損益のうち為替変動部分 166	1,573	+ 887	
うち為替差損益	△ 104	[為替差損益から除外 → 順ざやへ含める]	156	+ 260	
		④為替に係るヘッジコスト △260			
臨時損益	△ 1,860		△ 1,860		
経常利益	3,789		3,789		
当期純利益	1,997		1,997		
修正利益	1,997		1,997		

※経常利益・当期純利益・修正利益は、変動しない

改正項目	改正の方向性
① 投資信託の解約損益	基礎利益の算定から除外
② 有価証券償還損益のうち為替変動部分	
③ 再保険に関する損益	
既契約の出再に伴う損益	基礎利益の算定に含める
基礎利益以外の損益と対応する再保険に関する損益	
④ 為替に係るヘッジコスト	

国内生保各社の変動額

(億円)		[改正前]	[改正後]	差異
22/3期 国内生保 各社	DL	4,964	4,076	△887
	DFL	439	439	△0
	NFL	△79	△79	-

③再保険に関する損益の改正は、当社グループは既に改正後の基準を採用しているため、改正の影響はない

グループ各社の業績概要



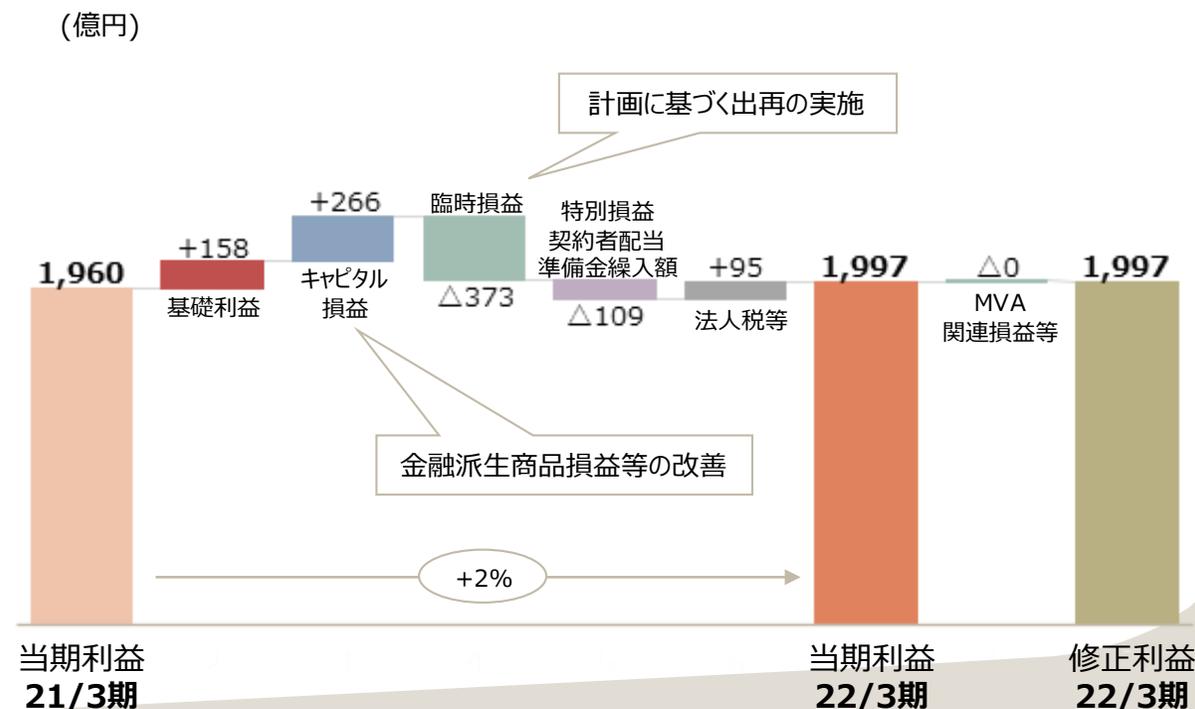
- ▶ 基礎利益は、予定利息の減少や内外株式の増配等を背景とした順ざやの増加を主な要因として前期比 + 3%増加の4,964億円
- ▶ 修正利益は、出再に伴う臨時損失を計上しつつも、前期に金融市場変動に伴って計上した金融派生商品損益の大幅な改善により、+15%増加の1,997億円

単体業績

(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
保険料等収入	22,854	22,761	△ 93	△ 0%
基礎利益	4,805	4,964	+ 158	+ 3%
順ざや	1,800	2,195	+ 395	+ 22%
保険関係損益	3,004	2,768	△ 235	△ 8%
キャピタル損益	419	685	+ 266	
有価証券売却損益	2,459	1,295	△ 1,164	
金融派生商品損益	△ 1,728	△ 386	+ 1,342	
為替差損益	△ 315	△ 104	+ 210	
有価証券評価損	△ 12	△ 84	△ 71	
臨時損益	△ 1,486	△ 1,860	△ 373	
新規追加責任準備金繰入額	△ 959	△ 725	+ 233	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	286	-	△ 286	
再保険関連収支	△ 793	△ 1,086	△ 293	
経常利益(損失)	3,737	3,789	+ 51	+ 1%
特別損益	△ 220	△ 230	△ 9	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 180	△ 170	+ 10	
契約者配当準備金繰入額	△ 775	△ 875	△ 100	
法人税等合計	△ 781	△ 686	+ 95	
当期純利益(損失)	1,960	1,997	+ 37	+ 2%
(参考) 基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽¹⁾	約+60	約+160	約+100	

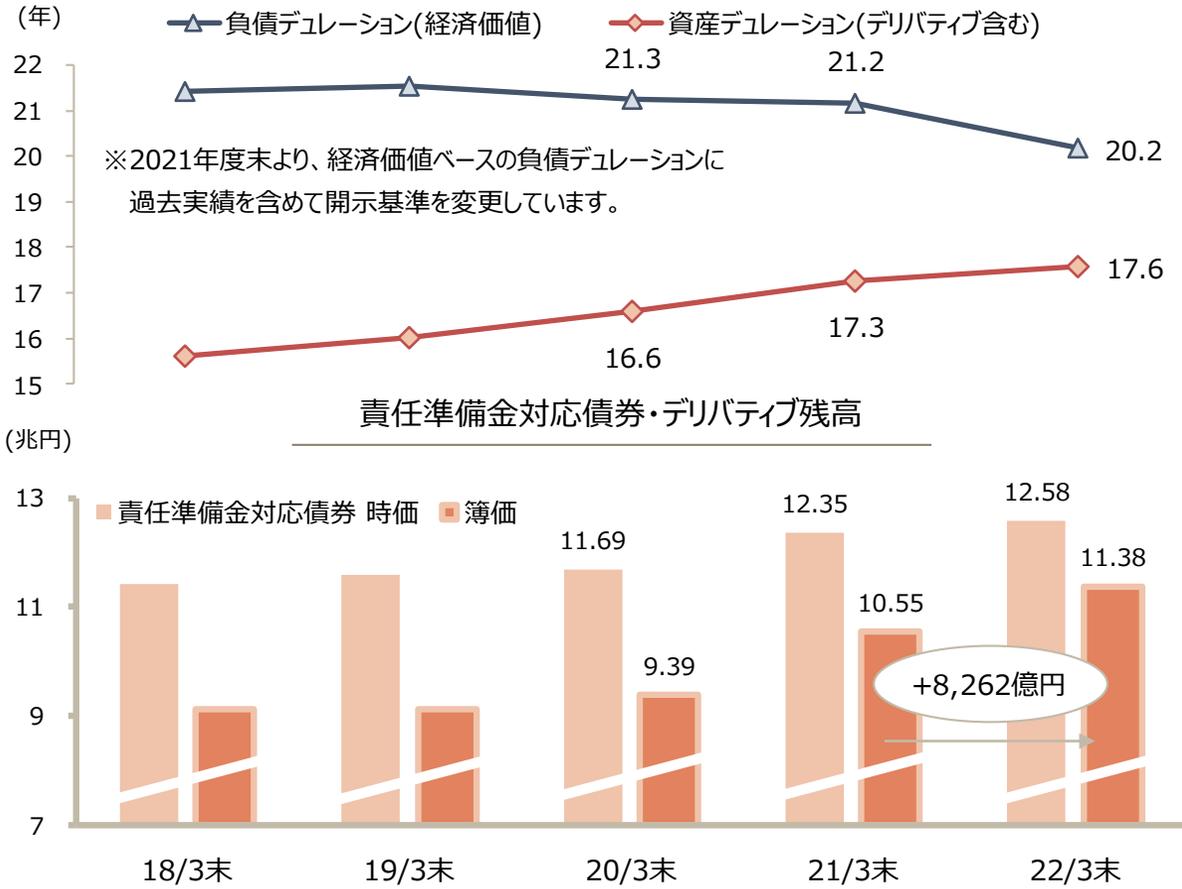
(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
修正利益	1,744	1,997	+253	+15%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



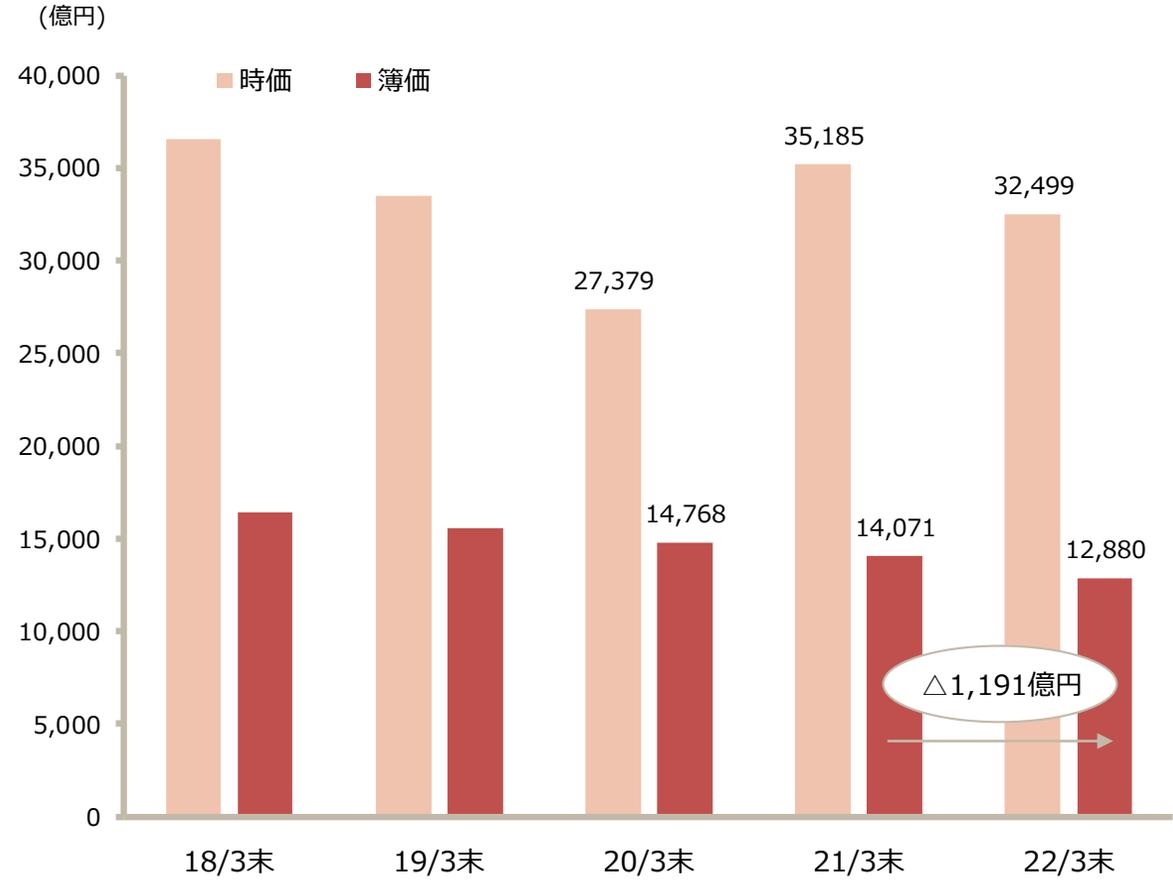
(1) 再保険取引の影響額：19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

デュレーションと責任準備金対応債券の積み増し状況(1)



金利スワップ (保険負債へのヘッジ会計適用分)	7,000億円	7,000億円	7,000億円
金利スワップション (固定受/変動払)	8,300億円	4,600億円	-

国内株式の簿価・時価(2)



国内株式リスク削減ポジション (デリバティブ等のポジション残高)	2,642億円	4,148億円	6,471億円
[参考]外国株式リスク削減ポジション	1,104億円	-	599億円

(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建確定利付資産(金利スワップを含む)の経済価値ベースのデュレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高
責任準備金対応債券とは、保険会社だけに認められた区分で、一定の要件を満たせば償却原価法による評価が認められているものを指します

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 22/3末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は746億円



[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命

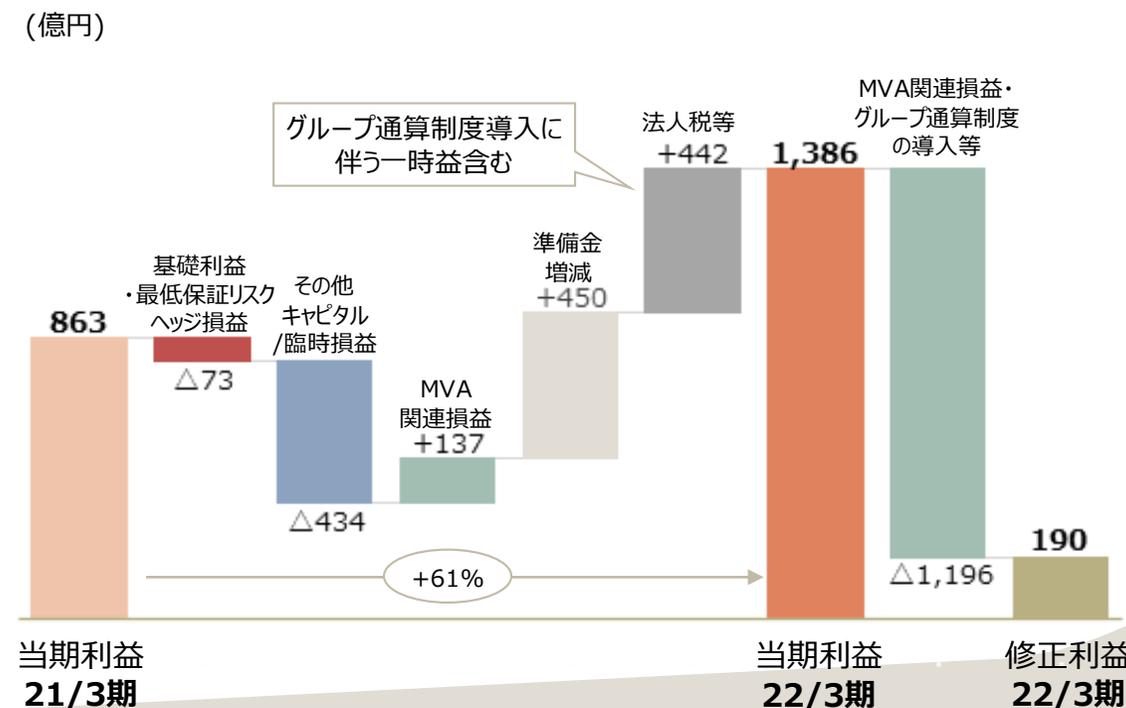
- ▶ 基礎利益は、最低保証リスクに係る損益の悪化等により、前期比△25%減少の439億円
- ▶ 当期利益は、MVA関連損益+893億円やグループ通算制度導入に伴う一時益等により、前期比+61%増加の1,386億円
MVA関連損益・グループ通算制度導入に伴う一時益を除く修正利益は、サープラスリーの解約に係る一時費用の発生等により前期比では△67%減少の190億円

単体業績⁽¹⁾

(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
保険料等収入	11,675	15,030	+ 3,355	+ 29%
基礎利益⁽²⁾	585	439	△ 145	△ 25%
順ざや・保険関係損益等	538	478	△ 59	
最低保証リスクに係る損益(責任準備金増減等)	46	△ 39	△ 86	
キャピタル損益	1,233	1,108	△ 124	
最低保証リスクヘッジ損益	△ 99	△ 27	+ 72	
MVA関連損益	634	893	+ 258	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)	698	242	△ 455	
臨時損益	△ 670	△ 317	+ 353	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 480	△ 28	+ 452	
MVA関連損益(再保険関連)	120	-	△ 120	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	△ 310	△ 288	+ 21	
経常利益(損失)	1,147	1,231	+ 83	+ 7%
特別損益	△ 56	△ 59	△ 2	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 56	△ 59	△ 2	
法人税等合計	△ 227	215	+ 442	
当期純利益(損失)	863	1,386	+ 523	+ 61%
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益	485	412	△ 73	
その他キャピタル・その他臨時損益	387	△ 46	△ 434	
MVA関連損益	755	893	+ 137	
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 764	127	+ 892	

(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
修正利益	571	190	△ 380	△ 67%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 22/3期1Qより各損益の内数の項目名を修正の上、従来の事業利益を組替え、一時的な有価証券売却損益等のキャピタル損益やその他臨時損益の再保険関連収支を区分する開示方法に変更しています

(2) 21/3期1Qより基礎利益の基準変更を行い、外貨建保険商品対応のための通貨スワップ及び金利スワップ取引に係る受取・支払利息の額及び再保険取引に係る金銭の信託等にて留保する資産より生じる影響額についてはキャピタル損益より組み替えています

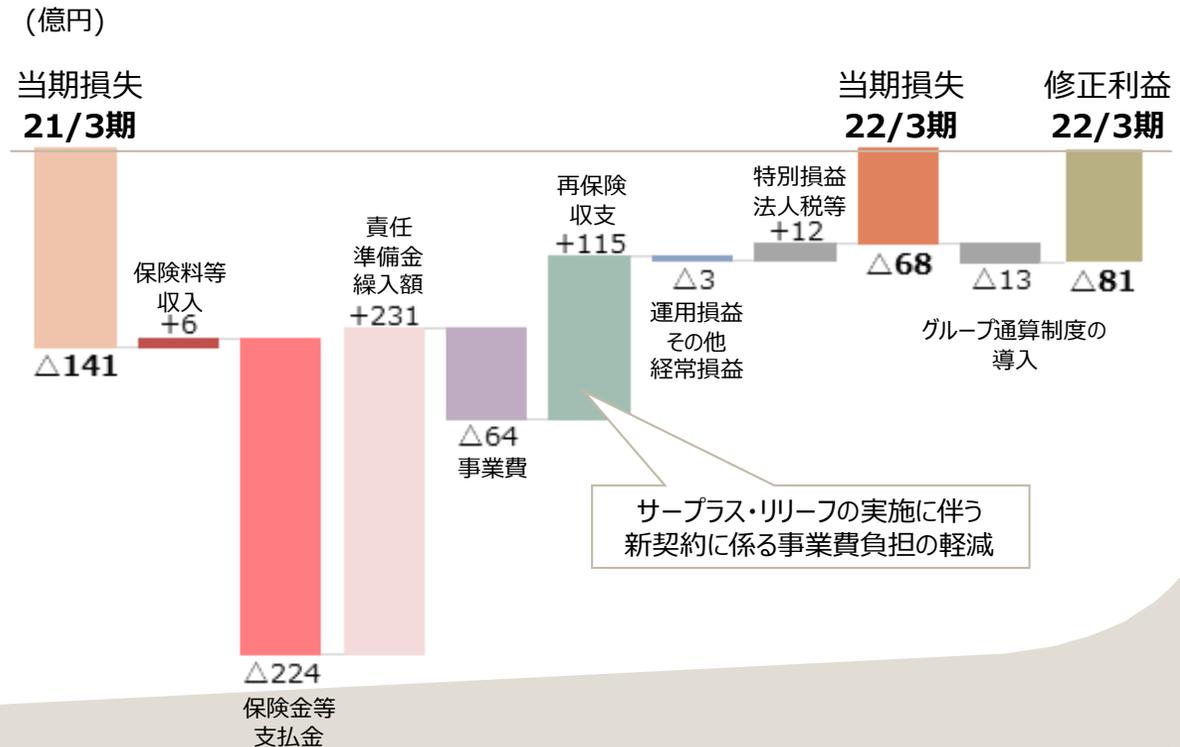
- ▶ 保険料等収入は、経営者保険の解約が一部生じたものの、堅調な新契約獲得により、前期比微増の1,417億円
- ▶ 経営者保険の解約に伴う保険金等支払金の増加は、責任準備金等の戻入によって相殺
修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の実施に伴う新契約に係る事業費負担の軽減等により、当期純損失は△68億円(前年同期は△141億円)に改善

単体業績

(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	1,411	1,417	+ 6	+ 0%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 221	△ 446	△ 224	
保険金・年金・給付金	△ 64	△ 97	△ 32	
解約返戻金・その他返戻金	△ 156	△ 348	△ 192	
責任準備金等繰入額	△ 916	△ 684	+ 231	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 3	△ 1	+ 1	
事業費	△ 278	△ 343	△ 64	
再保険収支	△ 127	△ 11	+ 115	
資産運用損益・その他経常損益	△ 8	△ 12	△ 3	
資産運用損益	2	4	+ 1	
その他経常損益	△ 11	△ 16	△ 5	
経常利益(損失)	△ 141	△ 80	+ 60	-
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	
法人税等合計	△ 0	12	+ 12	
当期純利益(損失)	△ 141	△ 68	+ 72	-
基礎利益	△ 138	△ 79	+ 58	-

(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
修正利益	△141	△81	+59	-

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異





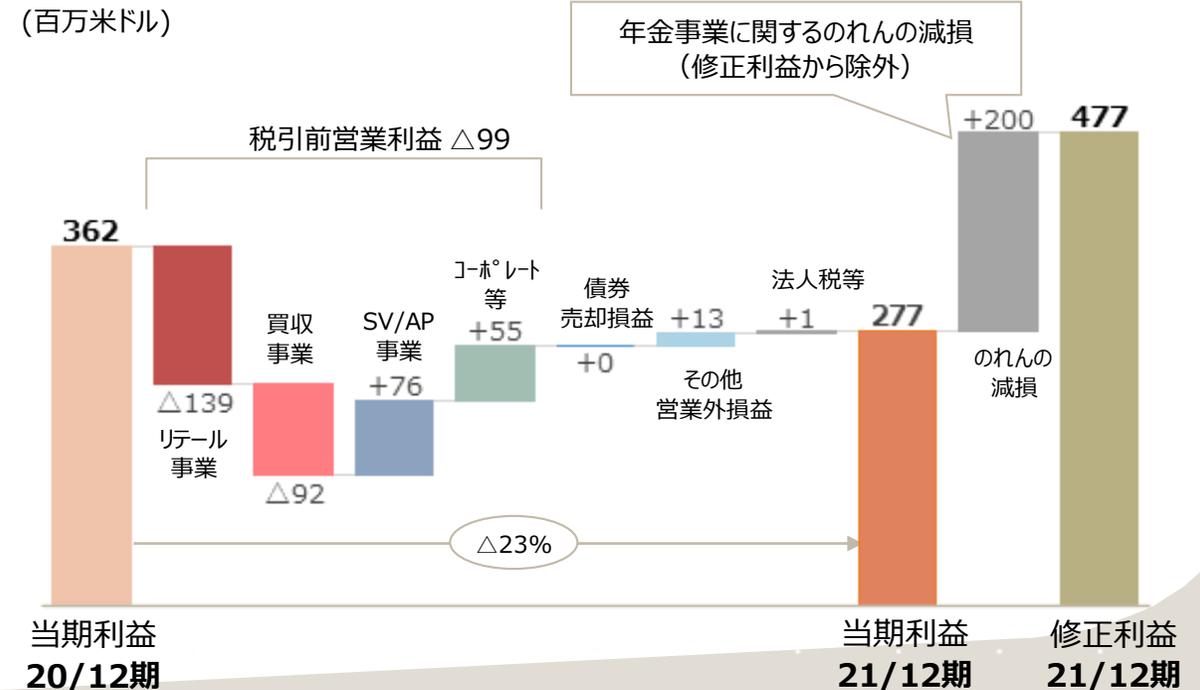
- ▶ 営業利益は、資産運用収益の上振れ等によるステーブルバリュー事業の利益増加やコーポレート等の損益回復が寄与したものの、リテール・買収事業におけるコロナ関連の保険金支払い増加等が影響し、前期比△19%減少の422百万米ドル
- ▶ 当期純利益は、前期の債券評価損や商業モーゲージローンに対する貸倒引当金繰入負担等から改善したものの、リテール保険 & 年金事業に関するのれんの減損により、前期比△23%減少の277百万米ドル

単体業績

(百万米ドル)	20/12期	21/12期	前期比	(%)
保険料等収入	5,902	6,321	+ 418	+ 7%
税引前営業利益⁽¹⁾	522	422	△ 99	△ 19%
リテール保険&年金	97	△ 41	△ 139	-
買収	406	314	△ 92	△ 23%
ステーブルバリュー(SV)	89	170	+ 81	+ 91%
アセットプロテクション(AP)	46	41	△ 4	△ 10%
コーポレート等	△ 117	△ 62	+ 55	-
営業外損益(償却調整後)	△ 61	△ 47	+ 14	
債券売却損益	45	45	+ 0	
債券評価損・株式評価損益等	△ 87	△ 0	+ 87	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	△ 151	133	+ 285	
修正共同保険式再保険に関する損益	133	△ 30	△ 164	
デリバティブ損益(変額/定額年金等)	△ 31	91	+ 122	
市場変動に伴う変額商品のDAC償却等の変動 ⁽²⁾	-	20	+ 20	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	29	△ 107	△ 137	
のれんの減損	-	△ 200	△ 200	
法人税等	△ 98	△ 97	+ 1	
当期純利益(損失)	362	277	△ 84	△ 23%
当期純利益 ※円換算後: 億円	374	319	△ 55	△ 15%
決算為替レート(対円)	103.50	115.02	+ 11.52	+ 11%

(億円)	20/12期	21/12期	前期比	(%)
修正利益	374	549	+174	+47%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標

(2) 21/12期1Qより、変額商品に係るDAC等償却や最低保証責任準備金等の変動による損益のうち、金融市場変動による収益前提の変更に伴う損益を税引前営業利益から除外し、営業外損益として組み替えています。過年度数値の修正は行っていません

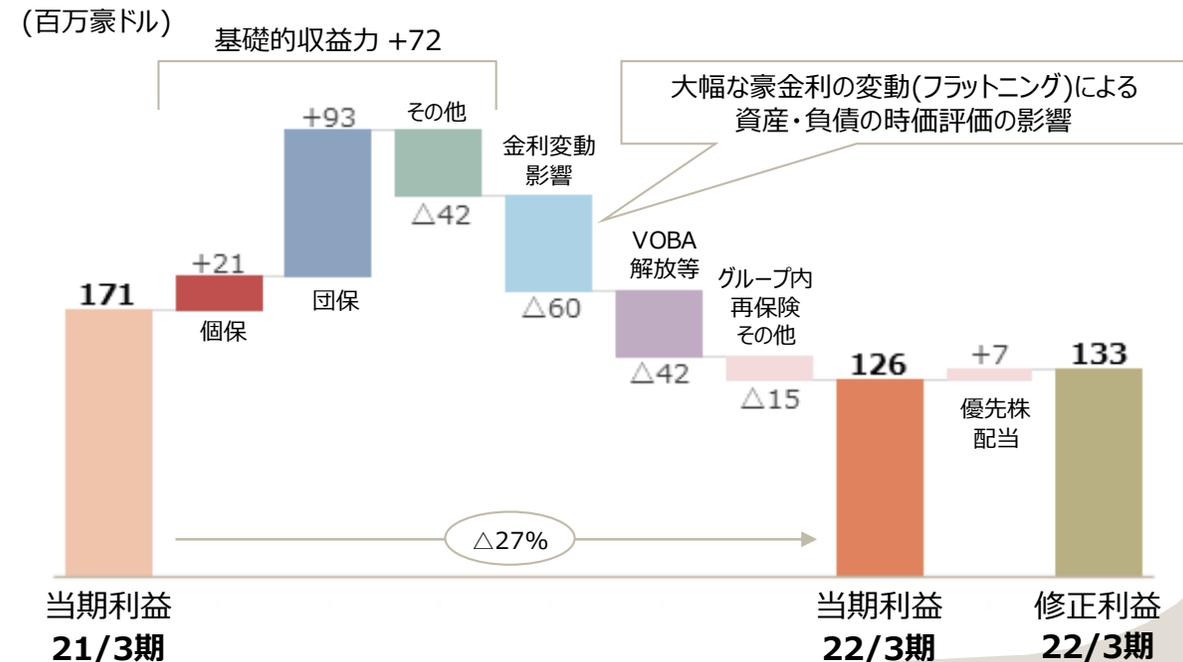
- 基礎的収益力は、個人・団体保険の損益改善や、アステロン・ライフの保険負債評価のモデル変更に伴う一時益により、前期比+33%増加の292百万豪ドル
当期純利益は、Westpac Lifeの買収に関連する費用や前期末比での大幅な豪金利の変動(フラットニング)による資産・負債の時価評価の影響等を受け、126百万豪ドル
- アステロン・ライフについては、2021年10月に同社資産・負債のTALへ移転を実施し、統合プロセスを完了

単体業績

(百万豪ドル)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
保険料等収入	5,670	6,219	+ 548	+ 10%
基礎的収益力(税引後)⁽¹⁾	219	292	+ 72	+ 33%
個人保険	230	252	+ 21	+ 9%
団体保険	△ 1	91	+ 93	-
その他(基礎的項目)	△ 9	△ 51	△ 42	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 47	△ 166	△ 118	
金利変動に伴う資産・保険負債の変動	19	△ 40	△ 60	
VOBAの解放・VIF償却	23	△ 19	△ 42	
優先株配当等	△ 16	△ 15	+ 0	
グループ内再保険(出再)の影響 ⁽²⁾	△ 30	△ 50	△ 20	
その他	△ 44	△ 39	+ 4	
当期純利益(損失)	171	126	△ 45	△ 27%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	144	115	△ 28	△ 20%
決算為替レート(対円)	84.36	92.00	+ 7.64	+ 9%

(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
修正利益	152	123	△ 29	△ 19%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 22/3期3Qより、全保有契約等のTALへの移転・統合に伴い、旧アステロン・ライフの基礎的収益力を個人保険・団体保険・その他(基礎的項目)に組み替え、過年度の数値を併せて修正しています

(2) グループ資本効率率の観点から、豪TALよりグループ会社(DL)へ再保険(出再)を行ったことに伴う損益を記載しています

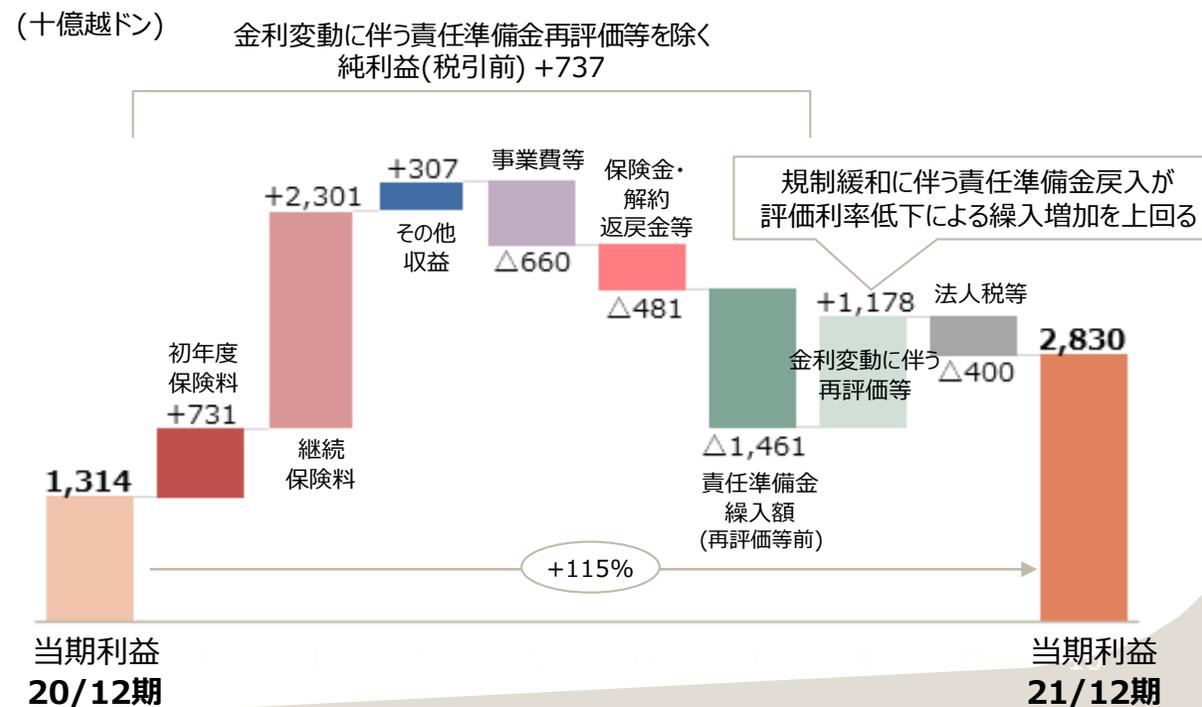
- ▶ 新契約の堅調な伸展と保有契約の拡大に伴い、保険料等収入は前期比+19%増加
- ▶ 当期純利益は、継続保険料拡大を通じた利益寄与に加え、一部商品の責任準備金計算の規制緩和に伴う戻入が寄与し、前期比+115%増加の2,830十億越ドン

単体業績

(十億越ドン)	20/12期	21/12期	前期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	15,614	18,647	+ 3,032	+ 19%
初年度保険料	5,255	5,987	+ 731	+ 14%
継続保険料 ⁽¹⁾	10,357	12,659	+ 2,301	+ 22%
その他収益	1,258	1,566	+ 307	
資産運用収益等	1,833	2,263	+ 429	
再保険収支	△ 574	△ 697	△ 122	
事業費等	△ 7,805	△ 8,465	△ 660	
初年度販売手数料・経費等	△ 6,157	△ 6,581	△ 423	
継続手数料・事務管理費	△ 1,647	△ 1,883	△ 236	
保険金・解約返戻金等	△ 1,792	△ 2,273	△ 481	
責任準備金繰入額等	△ 5,632	△ 5,915	△ 282	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 4,545	△ 6,006	△ 1,461	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	△ 1,087	91	+ 1,178	
法人税等	△ 328	△ 728	△ 400	
当期純利益(損失)	1,314	2,830	+ 1,515	+ 115%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	59	141	+ 82	+ 139%
決算為替レート(対円)	0.0045	0.0050	+ 0.0005	+ 11%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	2,184	2,757	+ 572	+ 26%

(億円)	20/12期	21/12期	前期比	(%)
修正利益	59	141	+82	+139%

当期純利益(損失)の変動要因

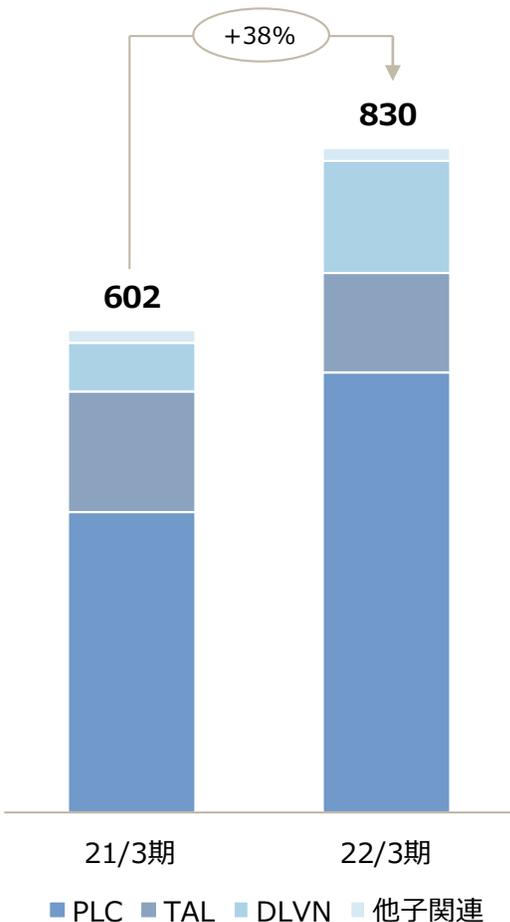


(1) 契約より2年目以降の保険料収入



- ▶ 海外保険事業の修正利益は、米PLCの大幅な損益改善やDLVN(ベトナム)の利益拡大等により、前期比+38%増加の830億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、預り運用資産の増加等からAMOneが増益となったものの、ジャナス・ヘンダーソンの非連結化により、前期比△48%減少の52億円

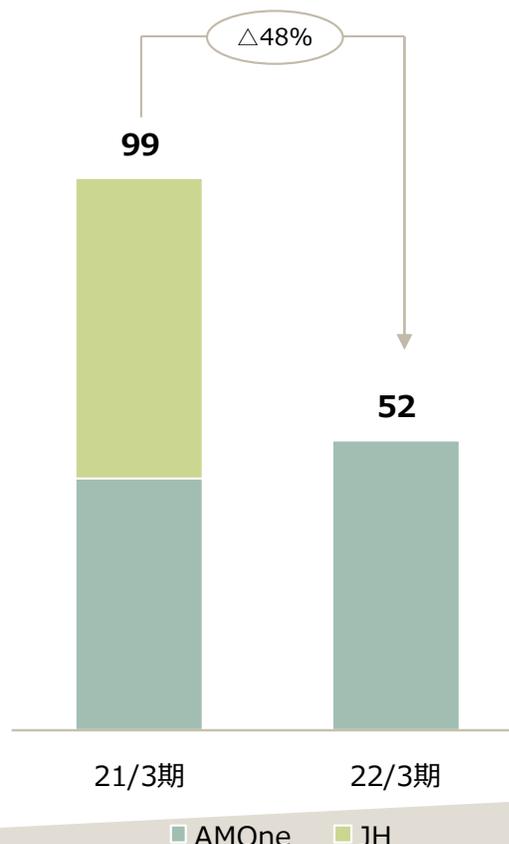
海外保険事業 修正利益合計



(億円)	21/3期	22/3期	増減(%)
PLC ⁽¹⁾	374	549	+ 47%
TAL	152	123	△ 19%
DLVN ⁽¹⁾	59	141	+ 139%
他子関連 ⁽¹⁾	16	16	+ 4%
	602	830	+ 38%

※他子関連会社はDLKH・DLMM・SUD・PDL・OLIの5社

その他事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



(億円)	21/3期	22/3期	増減(%)
AMOne	45	52	+ 15%
JH	54	-	-
	99	52	△ 48%

[参考] 預り運用資産(兆円)

	21/3期	22/3期	増減(%)
AMOne	57	59	+ 5%

※AMOneは当社の持分法適用関連会社
JH(ジャナス・ヘンダーソン)は保有株式の売却に伴い、現在の出資比率は0%(非連結)です

(1) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社です

グループEEV (European Embedded Value)



EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (1)

- ▶ グループEEVは、金融市場の安定的な推移や円安の結果、海外生保事業を中心に増加し、前期末比 + 3.0%(+1,797億円)増加の7兆1,509億円
- ▶ グループ新契約価値は、NFLや海外各社が販売拡大等により増加したものの、DLにおける収益寄与が小さい保障見直しの増加等により、前期比△0.4%減少の1,266億円、新契約マージンは同△0.78%ptの3.0%に低下

第一生命グループ

	21/3末	22/3末	増減
(億円)			
第一生命グループEEV	69,711	71,509	+ 1,797
対象事業 (covered business) のEEV ⁽¹⁾	69,971	72,000	+ 2,028
修正純資産	69,622	60,358	△ 9,263
保有契約価値	349	11,642	+ 11,292
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△ 259	△ 491	△ 231

	21/3期	22/3期	増減
(億円)			
グループ新契約価値 (A)	1,271	1,266	△ 5
収入保険料現価 (B)	33,673	42,223	+ 8,550
新契約マージン (A/B)	3.78%	3.00%	△ 0.78%pt

(1) 対象事業(covered business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲のことで、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています
第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、豪TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業としました

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(21/3末：13,674億円、22/3末：12,662億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(21/3末：△14,773億円、22/3末：△14,154億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます

(3) 21/3期より基準変更(円金利の超長期補外のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への社債スプレッドの反映)を実施しています

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (2)



グループ各社(国内)のEEV

(億円)

第一生命	21/3末	22/3末	増減
EEV	51,274	49,766	△ 1,508
修正純資産	58,378	49,441	△ 8,937
保有契約価値	△ 7,103	324	+ 7,428

第一フロンティア生命	21/3末	22/3末	増減
EEV	5,875	5,855	△ 20
修正純資産	4,855	3,620	△ 1,234
保有契約価値	1,020	2,234	+ 1,214

ネオファースト生命	21/3末	22/3末	増減
EEV	1,672	1,904	+ 231
修正純資産	208	128	△ 80
保有契約価値	1,463	1,775	+ 312

(億円)

	21/3期	22/3期	増減
新契約価値	844	686	△ 157
収入保険料現価	15,558	16,361	+ 802
新契約マージン	5.43%	4.20%	△ 1.23%pt

	21/3期	22/3期	増減
新契約価値	113	43	△ 70
収入保険料現価	7,261	10,238	+ 2,976
新契約マージン	1.56%	0.42%	△ 1.14%pt

	21/3期	22/3期	増減
新契約価値	180	220	+ 39
収入保険料現価	1,572	1,925	+ 353
新契約マージン	11.50%	11.45%	△ 0.05%pt
新契約価値*	206	258	51
新契約マージン*	13.17%	13.40%	+ 0.24%pt

*均衡事業費ベース

EEV – ヨーロピアン・エンベディッド・バリュー (3)



グループ各社(海外)のEEV

(億円)

米プロテクトティブ	20/12末	21/12末	増減
EEV	6,240	8,819	+2,578
修正純資産	3,746	4,285	+538
保有契約価値	2,493	4,533	+2,039
※為替レート (円/米ドル)	103.50	115.02	

豪TAL	21/3末	22/3末	増減
EEV	4,127	4,553	+425
修正純資産	2,161	2,409	+247
保有契約価値	1,966	2,143	+177
※為替レート (円/豪ドル)	84.36	92.00	

第一生命ベトナム	20/12末	21/12末	増減
EEV	994	1,310	+316
修正純資産	484	681	+197
保有契約価値	509	629	+119
※為替レート (円/越ドン)	0.0045	0.0050	

(億円)

	20/12期	21/12期	増減
新契約価値	△ 71	89	+161
収入保険料現価	6,318	10,678	+4,359
新契約マージン	△ 1.14%	0.84%	+ 1.98%pt
※為替レート (円/米ドル)	103.50	115.02	

	21/3期	22/3期	増減
新契約価値	89	88	△ 0
収入保険料現価	1,863	1,831	△ 31
新契約マージン	4.78%	4.83%	+ 0.05%pt
※為替レート (円/豪ドル)	84.36	92.00	

	20/12期	21/12期	増減
新契約価値	116	137	+21
収入保険料現価	1,098	1,188	+89
新契約マージン	10.57%	11.59%	+ 1.02%pt
※為替レート (円/越ドン)	0.0045	0.0050	



第一生命グループ及び第一生命のEEV感応度(2022年3月末)

第一生命グループ

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEV・VNBに対する各変化率)

前提条件	EEV感応度	対象事業のEEV	対象事業以外の 純資産等に係る調整	新契約価値	[対象事業のEEV感応度の内訳]	
					修正純資産	保有契約価値
リスク・フリー・レート50bp上昇	+2,973 +4%	+2,848 +4%	+124 +0%	+88 +7%	△ 15,057 △ 21%	+17,906 +25%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 4,592 △ 6%	△ 4,462 △ 6%	△ 129 △ 0%	△ 123 △ 10%	+16,745 +23%	△ 21,208 △ 30%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,832 △ 7%	△ 4,661 △ 7%	△ 170 △ 0%	△ 14 △ 1%	△ 4,260 △ 6%	△ 401 △ 1%
第一生命グループのEEV	71,509	72,000	△ 491	1,266		

第一生命

(単位：億円、上段：変化額、下段：EEV・VNBに対する各変化率)

前提条件	EEV感応度	新契約価値	[EEV感応度の内訳]	
			修正純資産	保有契約価値
リスク・フリー・レート50bp上昇	+2,913 +6%	+66 +10%	△ 13,393 △ 27%	+16,306 +33%
リスク・フリー・レート50bp低下	△ 4,451 △ 9%	△ 89 △ 13%	+14,960 +30%	△ 19,411 △ 39%
株式・不動産価値10%下落	△ 4,387 △ 9%	- -	△ 4,387 △ 9%	- -
第一生命のEEV	49,766	686		



資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

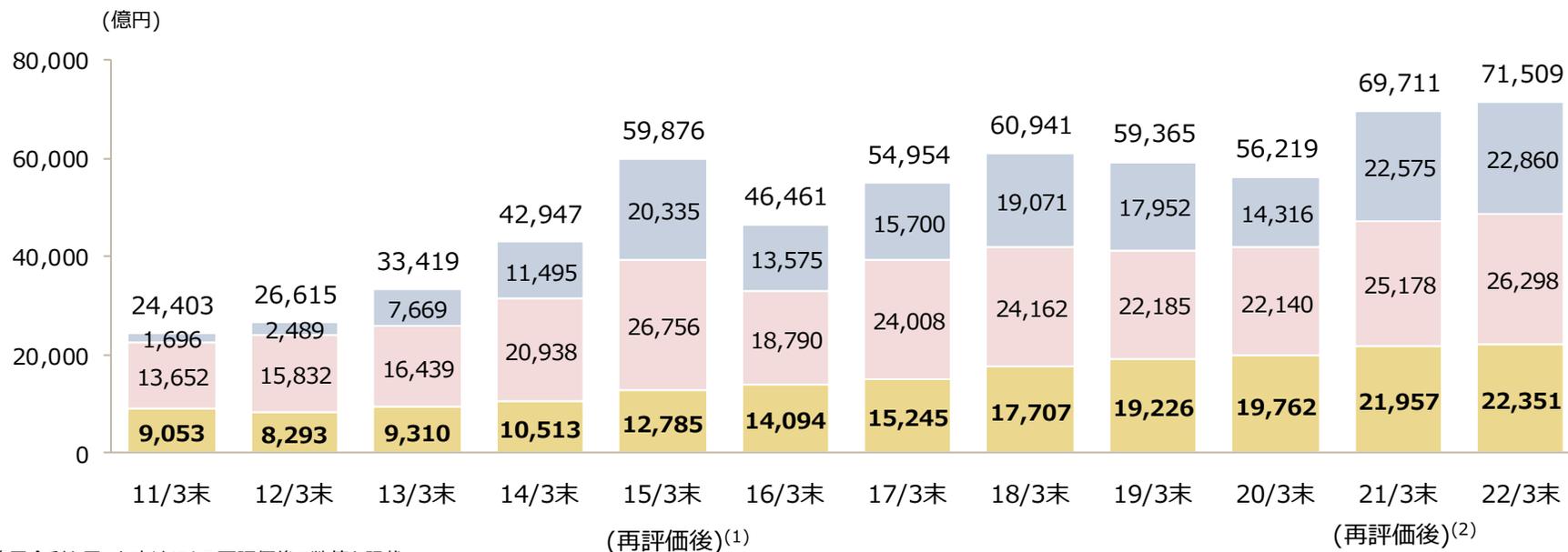
第一生命グループのEEV (億円)

(億円)	21/3末	22/3末	増減
第一生命グループEEV	69,711	71,509	+1,797
対象事業(covered business)のEEV	69,971	72,000	+2,028
修正純資産	69,622	60,358	△9,263
保有契約価値	349	11,642	+11,292
対象事業以外の純資産等に係る調整	△259	△491	△231

資産・負債の対応を考慮した再分類

(億円)	21/3末	22/3末	増減
第一生命グループEEV	69,711	71,509	+1,797
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽³⁾	22,575	22,860	+284
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽⁴⁾	25,178	26,298	+1,119
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁵⁾	21,957	22,351	+393

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等⁽³⁾

保有契約価値+確定利付資産の含み損益等⁽⁴⁾

純資産等+負債中の内部留保⁽⁵⁾
: 実現利益の累積額に相当

(1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載

(2) 21/3期より基準変更(円金利の超長期補外のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への社債スプレッドの反映)を実施

(3) DLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上

(4) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDFLおよびNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上

本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に応じた、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります

(5) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上

参考データ

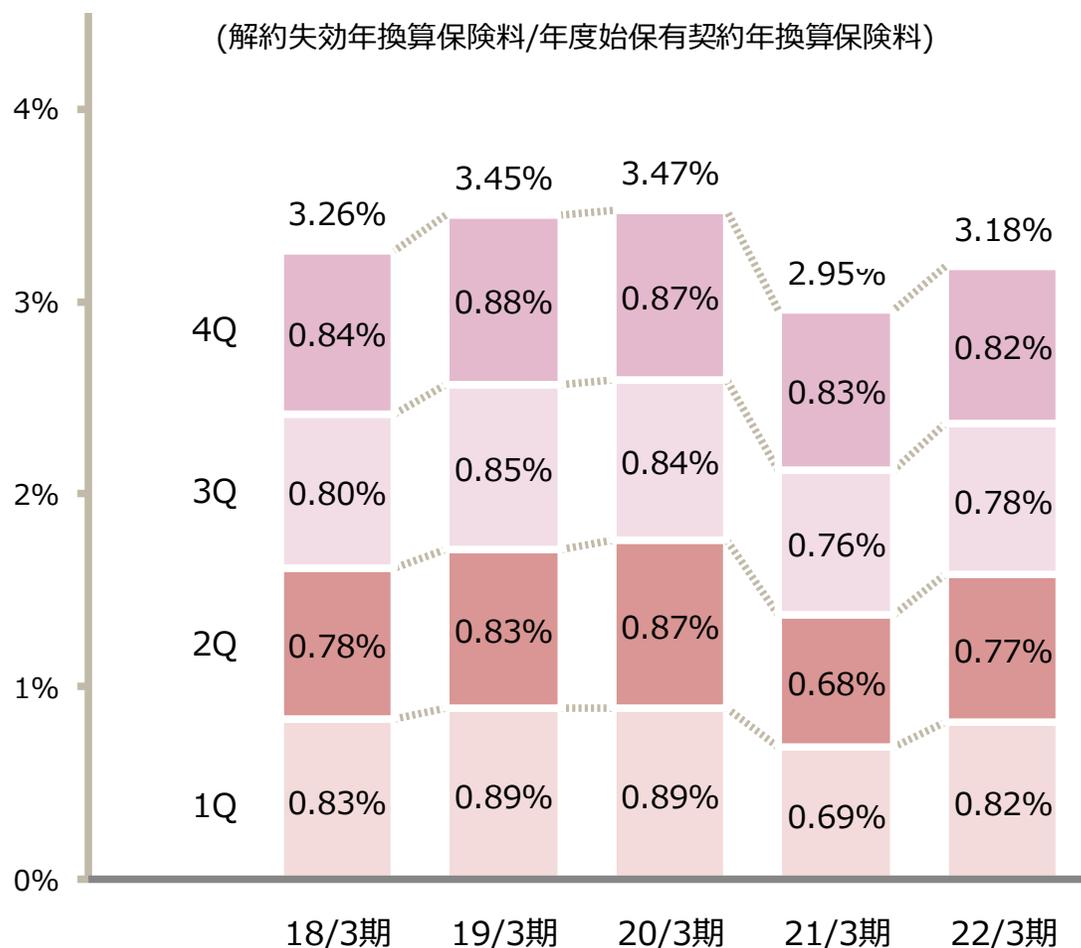


[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

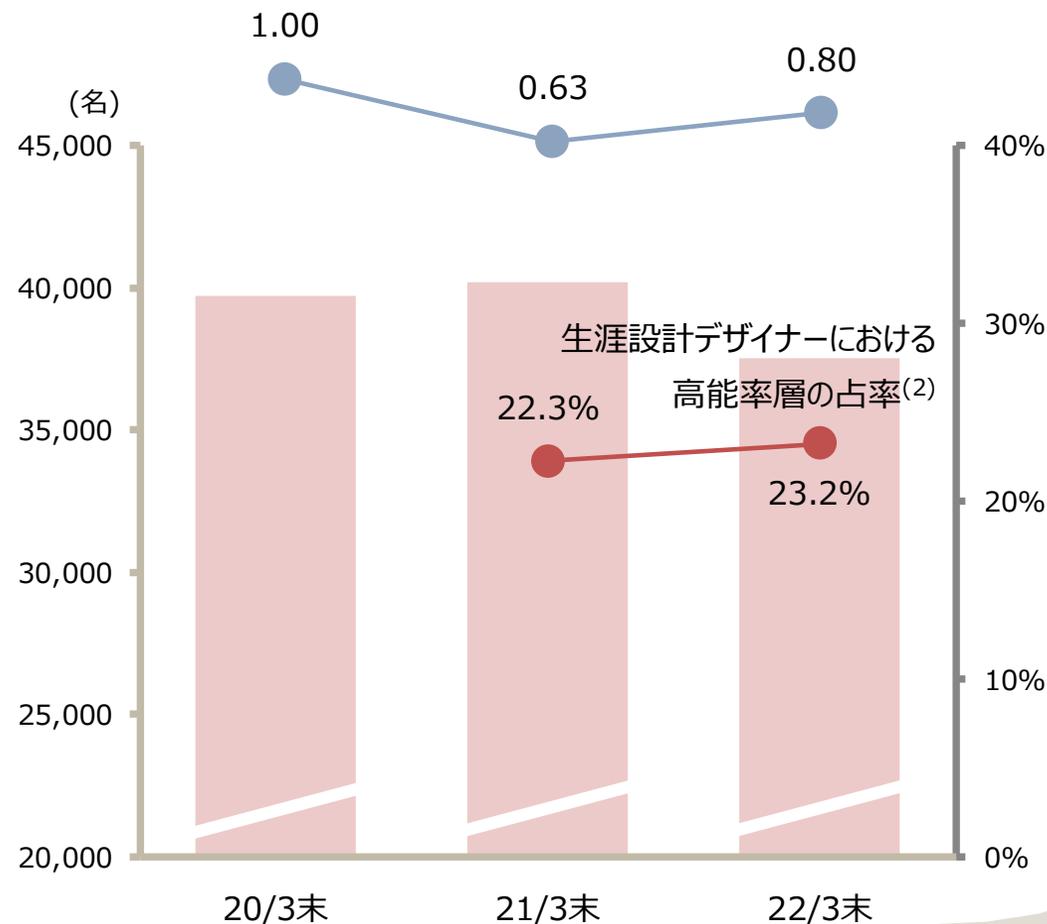
解約失効率

(解約失効年換算保険料/年度始保有契約年換算保険料)



生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率

一人あたり営業収益価値⁽¹⁾
(20/3末=1として指数化)



[参考]生涯設計デザイナー数(ライフプロフェッショナル職を含む)

(1) 各期の営業収益価値(営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除外した新契約価値に相当)を分子、入社初年度を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算

(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合です



[第一生命] 資産運用の状況① – 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
利息・配当金等収入	8,365	8,311	△ 54	△ 1%
公社債	2,729	2,694	△ 34	△ 1%
株式	600	744	+ 143	+ 24%
外国証券	3,322	3,208	△ 113	△ 3%
その他の証券	530	509	△ 21	△ 4%
貸付金	391	388	△ 2	△ 1%
不動産	737	711	△ 25	△ 3%

[参考] 22/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	8,311	350,809	2.37%
公社債	2,694	166,665	1.62%
株式	744	14,056	5.30%
外国証券	3,208	101,445	3.16%
その他の証券	509	8,748	5.82%
貸付金	388	25,766	1.51%
不動産 ⁽²⁾	711	7,909	9.00%

(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算

(2) 投資用不動産

有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

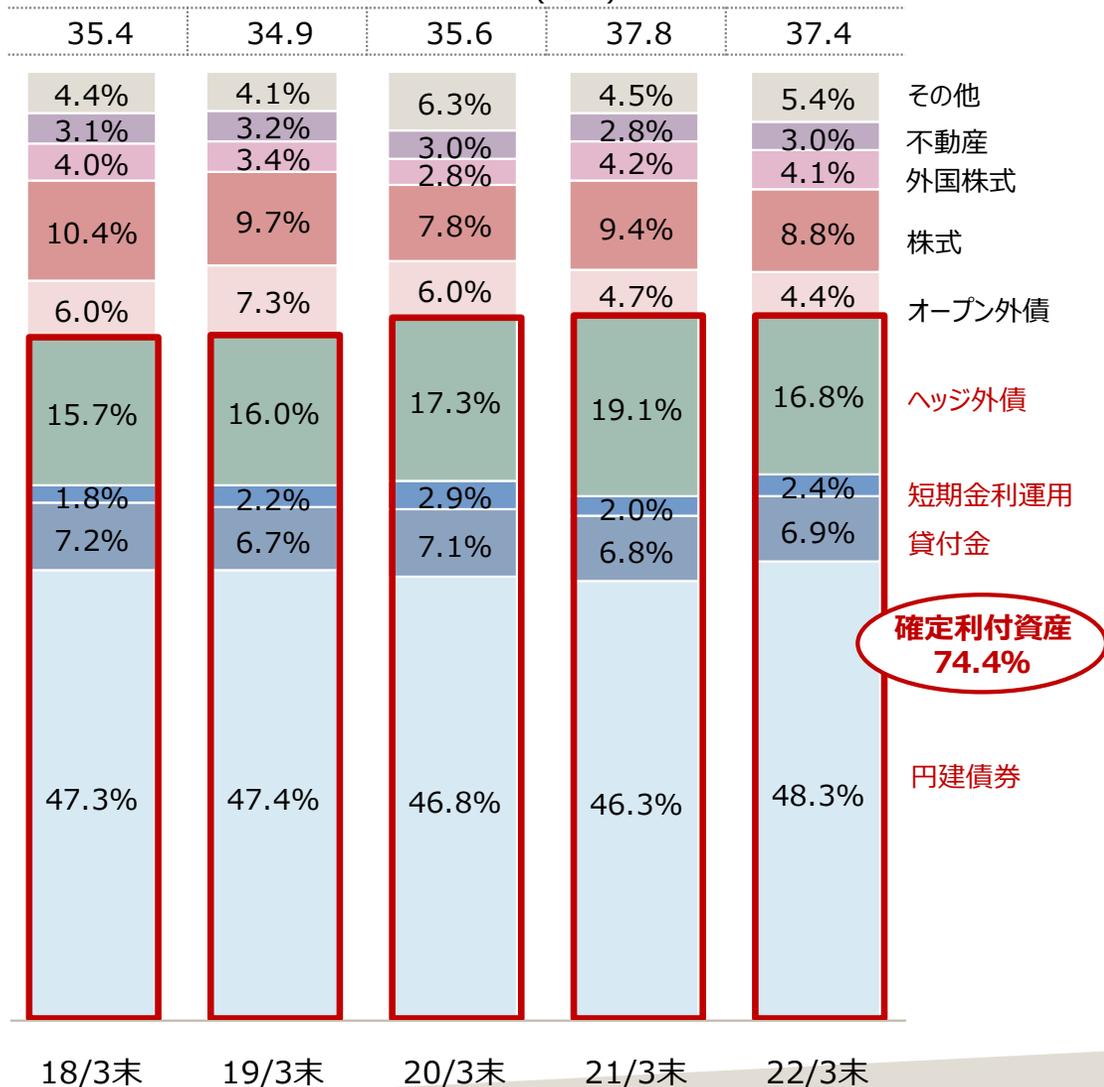
(億円)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
有価証券売却益	3,712	3,511	△ 201	△ 5%
公社債	795	725	△ 69	△ 9%
株式	1,457	1,667	+ 210	+ 14%
外国証券	1,425	1,088	△ 337	△ 24%
その他の証券	34	29	△ 5	△ 15%
有価証券売却損	1,253	2,215	+ 962	+ 77%
公社債	5	224	+ 218	+ 3,929%
株式	41	81	+ 39	+ 95%
外国証券	896	1,622	+ 725	+ 81%
その他の証券	310	288	△ 21	△ 7%
有価証券売却損益	2,459	1,295	△ 1,164	△ 47%
有価証券評価損	12	84	+ 71	+ 560%
公社債	-	-	-	-
株式	12	49	+ 36	+ 283%
外国証券	0	17	+ 17	+ 35,507%
その他の証券	-	18	+18	-



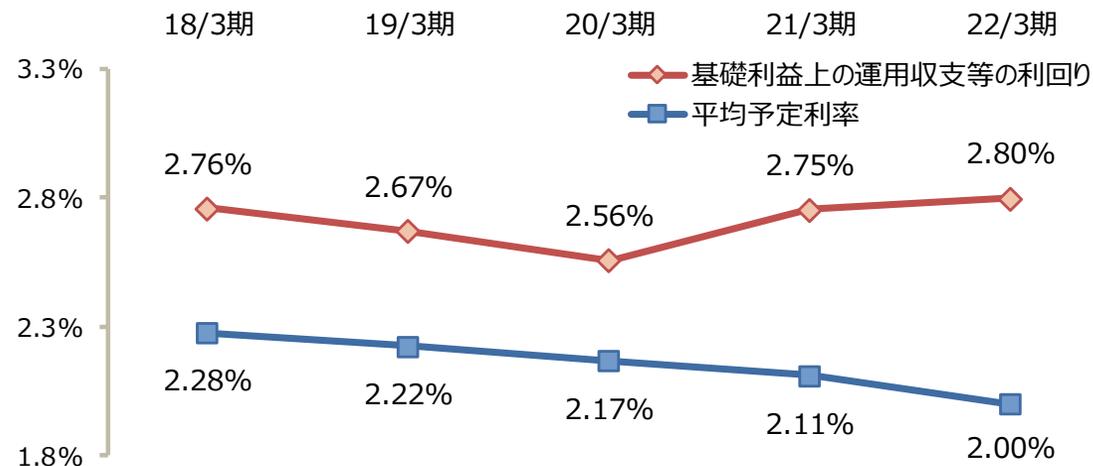
[第一生命] 資産運用の状況② - 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾

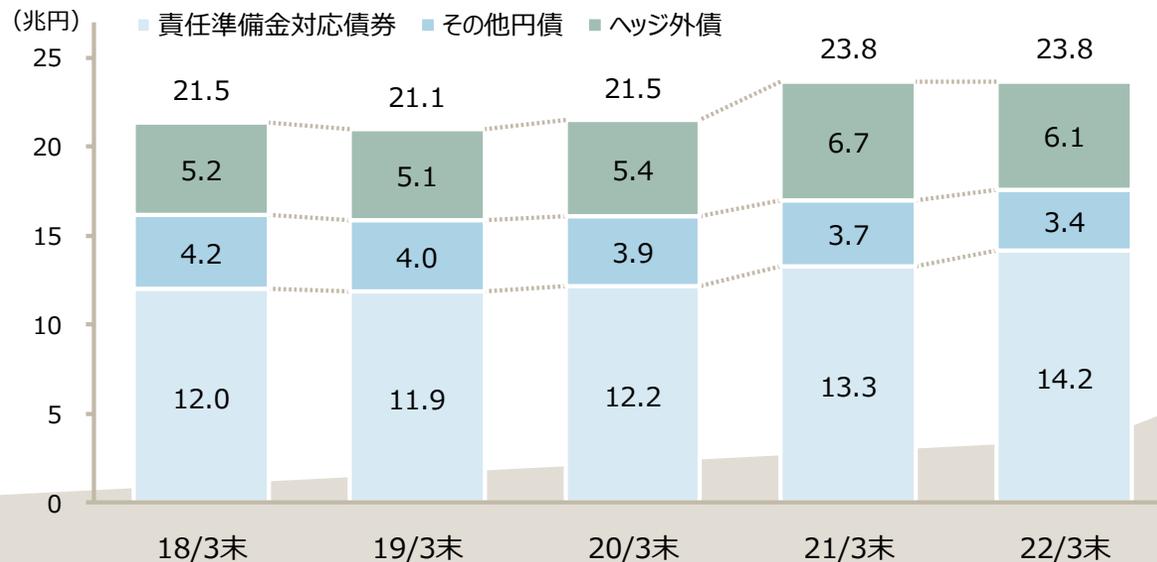
一般勘定資産合計(兆円)



資産運用利回りと平均予定利率



確定利付資産における債券積み増し状況⁽²⁾

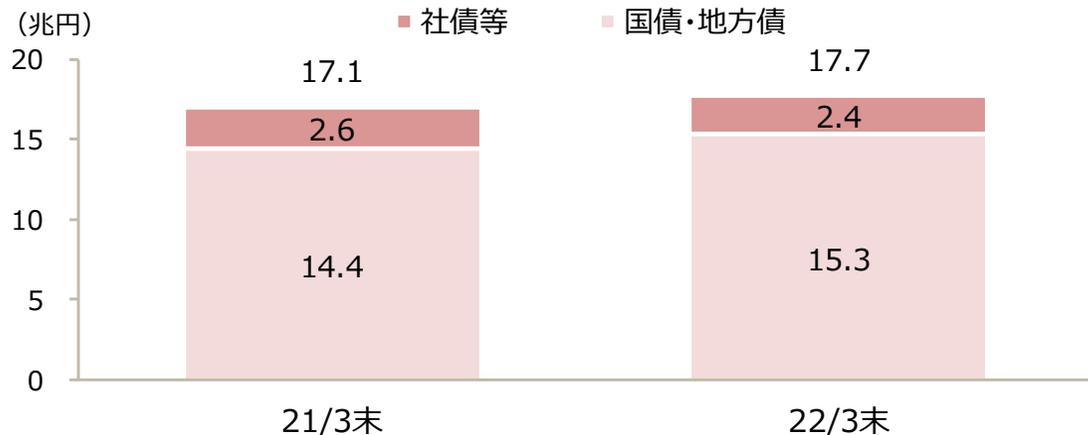


(1) 貸借対照表価額ベース (2) 簿価ベース

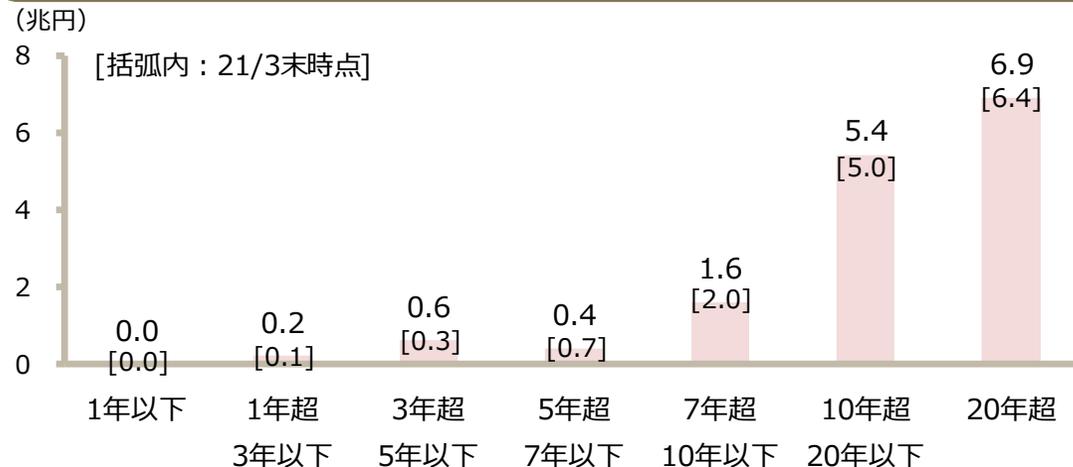


[第一生命] 資産運用の状況③ – 円建・外貨建債券の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾

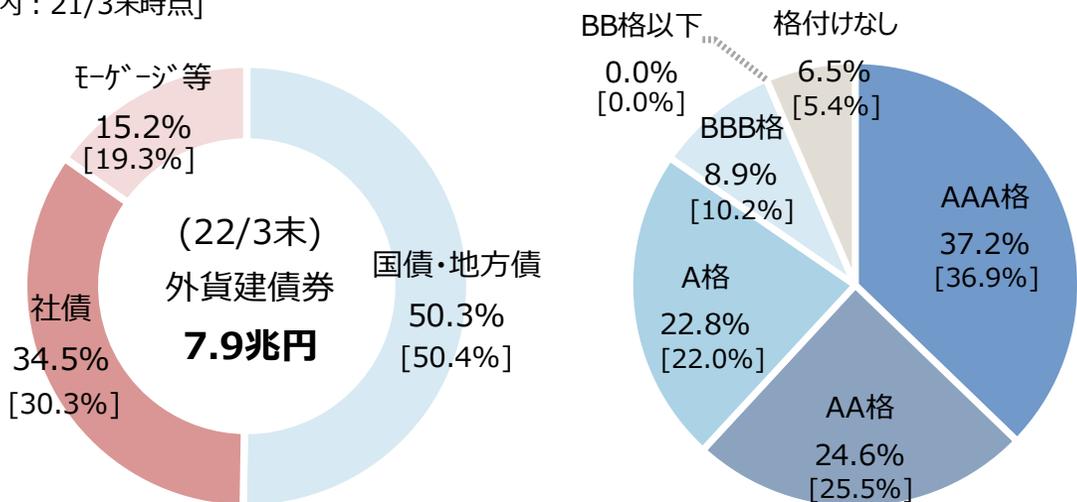


国債の残存期間別残高⁽²⁾ (22/3末)

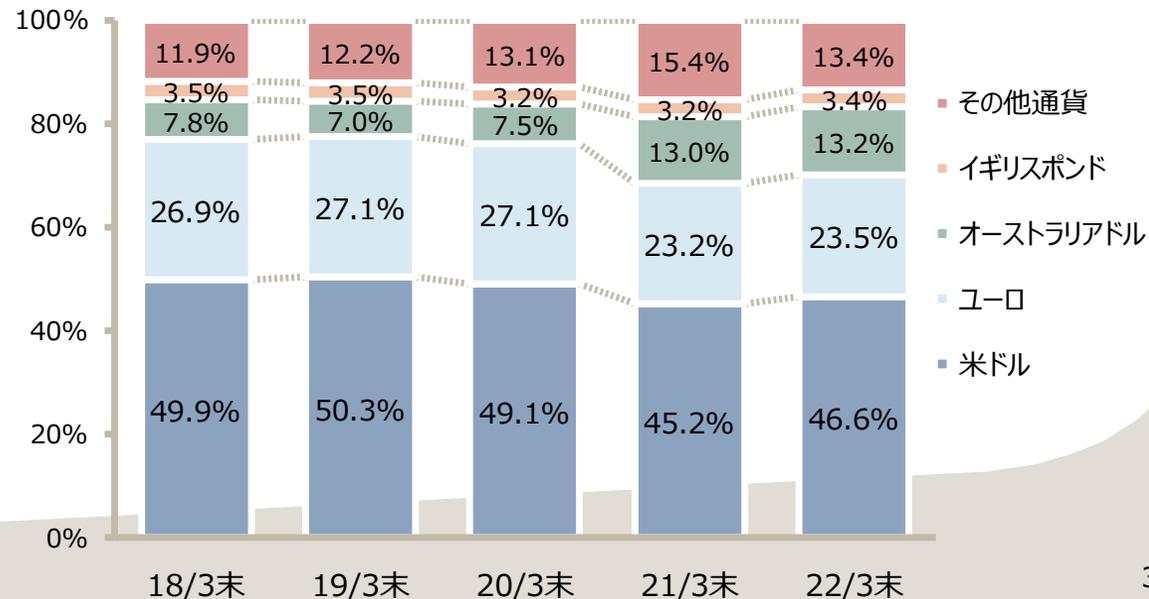


外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (22/3末)

[括弧内：21/3末時点]



外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾



(1) 簿価ベース
 (2) 貸借対照表価額ベース
 (3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

[第一生命] 健全性指標 – 含み損益とソルベンシー・マージン比率

含み損益(一般勘定)の状況

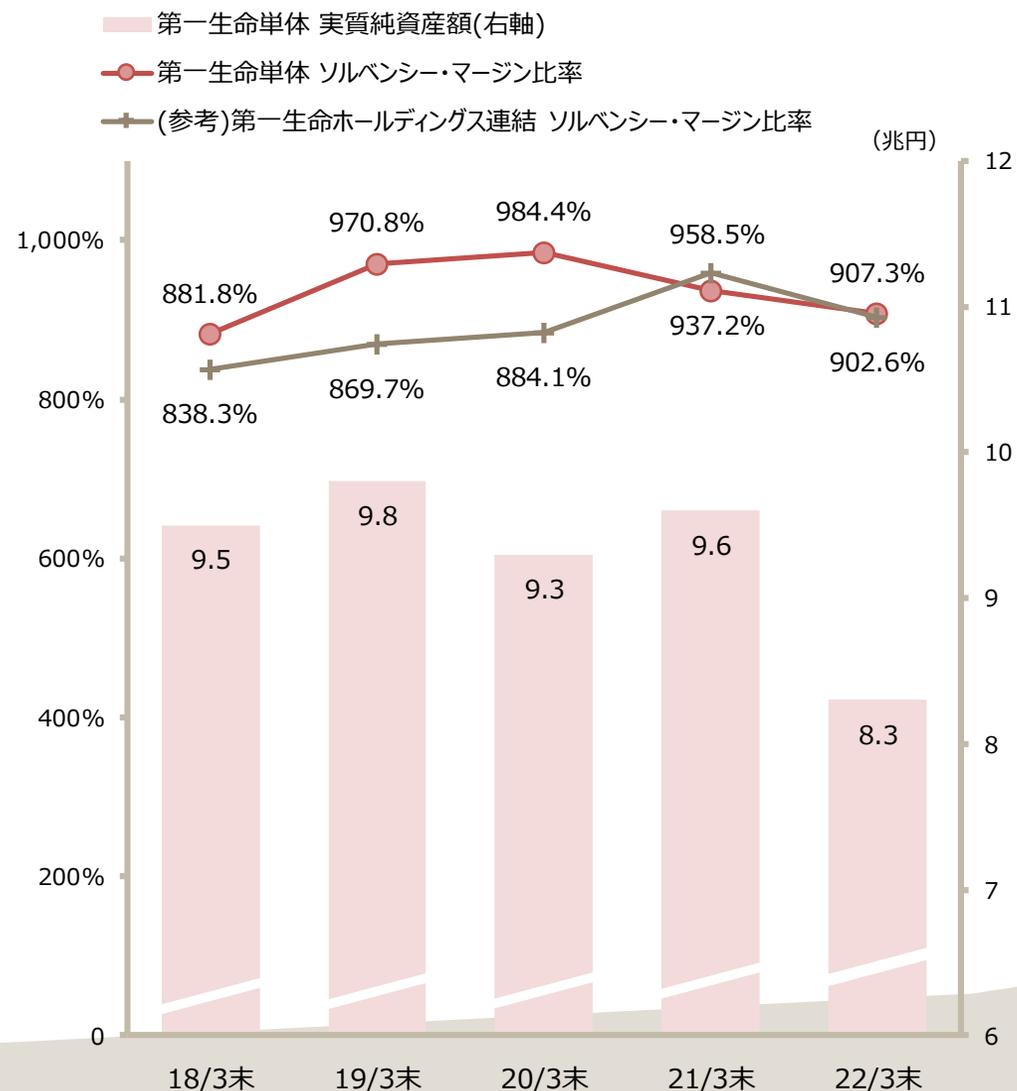
(億円)	21/3末	22/3末	前期末比	(%)
有価証券	57,089	44,392	△ 12,696	△ 22%
国内債券	25,960	18,042	△ 7,918	△ 31%
外国債券	7,397	3,787	△ 3,609	△ 49%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	5,085	1,397	△ 3,687	△ 73%
国内株式	21,113	19,619	△ 1,493	△ 7%
外国株式	2,292	2,568	+ 275	+ 12%
不動産	3,562	4,876	+ 1,313	+ 37%
一般勘定資産合計	60,761	49,133	△ 11,627	△ 19%

含み損益の市場感応度⁽¹⁾

含み損益ゼロ水準⁽²⁾

国内債券	10年国債利回り10bpの変動で 2,900億円の増減※ (2021年3月末：2,900億円) ※その他有価証券区分：200億円の増減 (2021年3月末：200億円)	10年国債利回り 0.8%※ (2021年3月末：1.0%) ※その他有価証券区分：1.5% (2021年3月末：1.5%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で 1,100億円の増減 (2021年3月末：1,200億円)	日経平均株価 ¥11,000 (2021年3月末：¥11,700)
外国証券	ドル/円 1円の変動で 210億円の増減 (2021年3月末：240億円)	ドル/円 \$1 = ¥107 (2021年3月末：¥105)

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



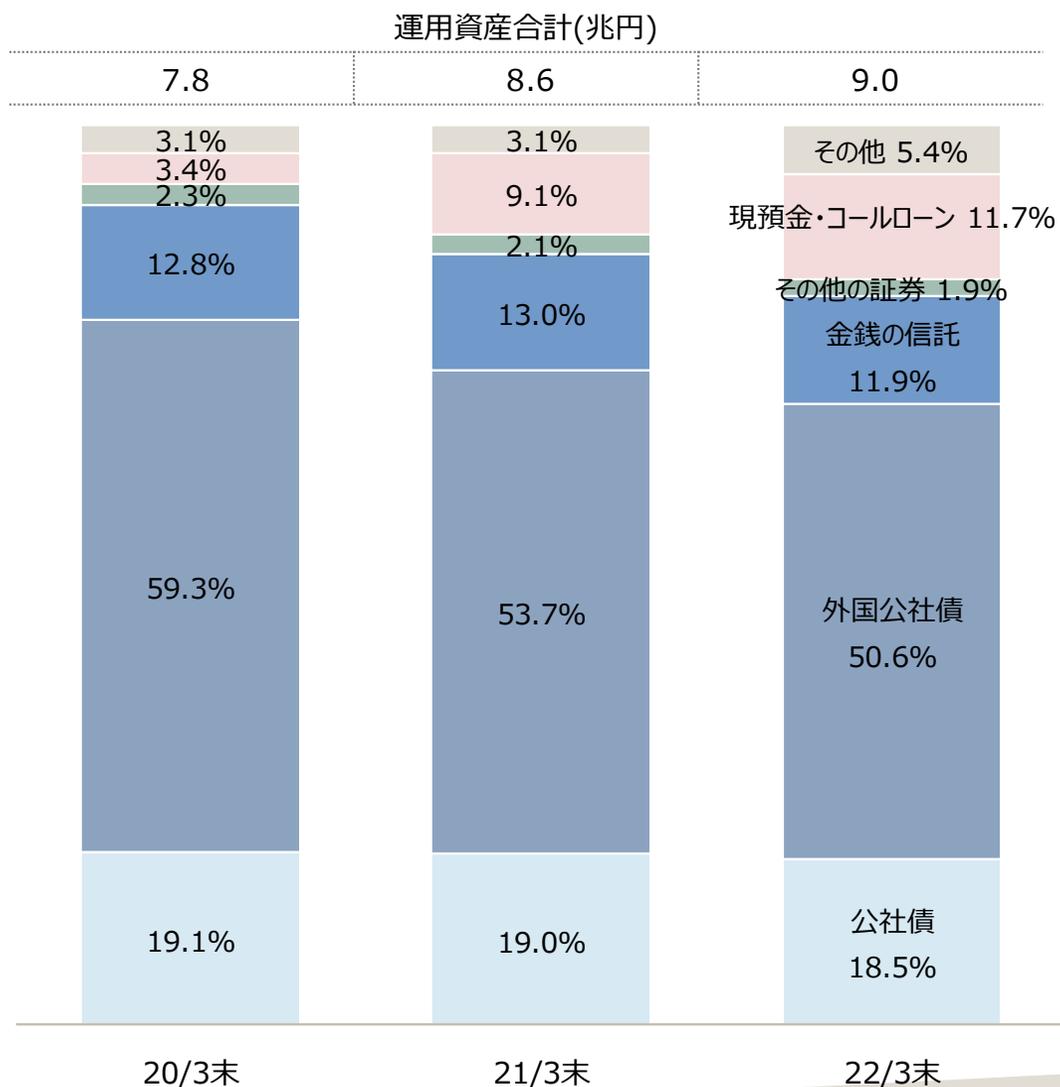
(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロとなる水準



[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 – 運用資産構成

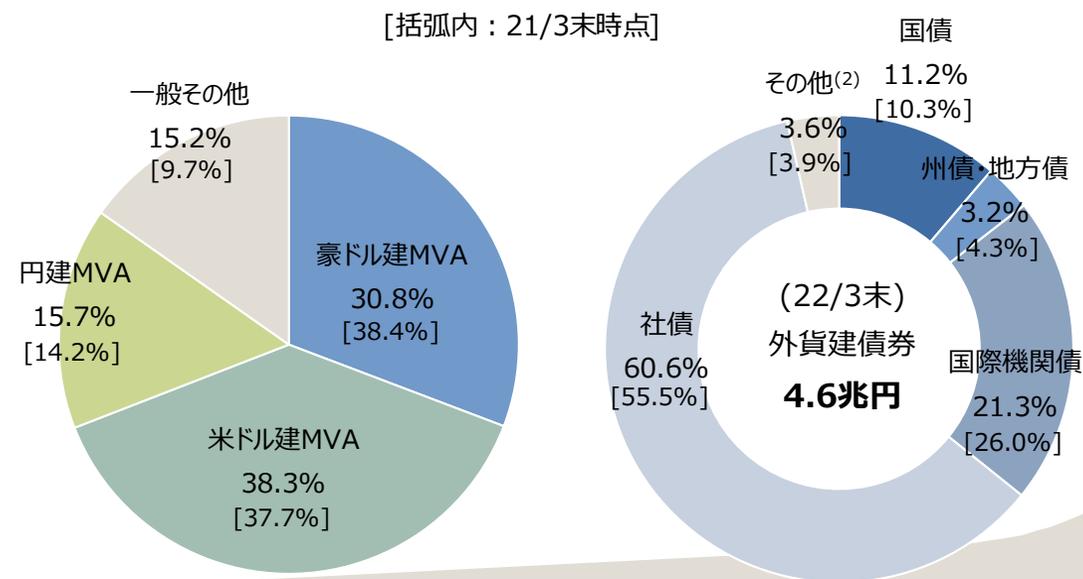
運用資産の構成(一般勘定) (1)



保有目的区分別有価証券の状況 (22/3末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	35,932	36,108	+ 175
その他有価証券	28,297	28,176	△ 121
公社債	4,723	4,758	+ 35
外国証券	21,711	21,535	△ 176
その他の証券	1,701	1,722	+ 20

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳



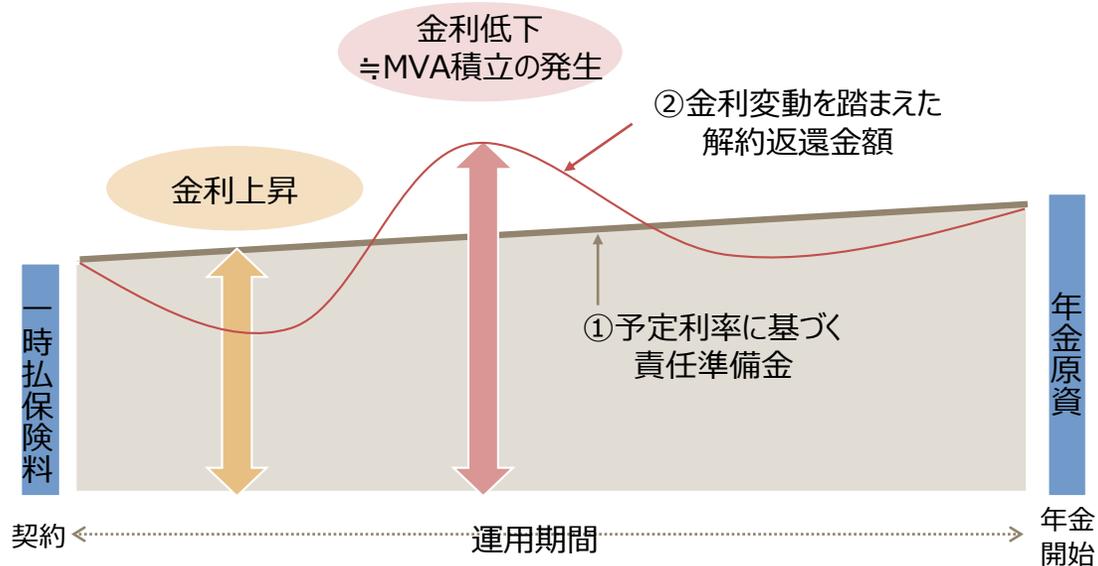
(1) 貸借対照表価額ベース
 (2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含みます



MVA(市場価格調整)関連損益について

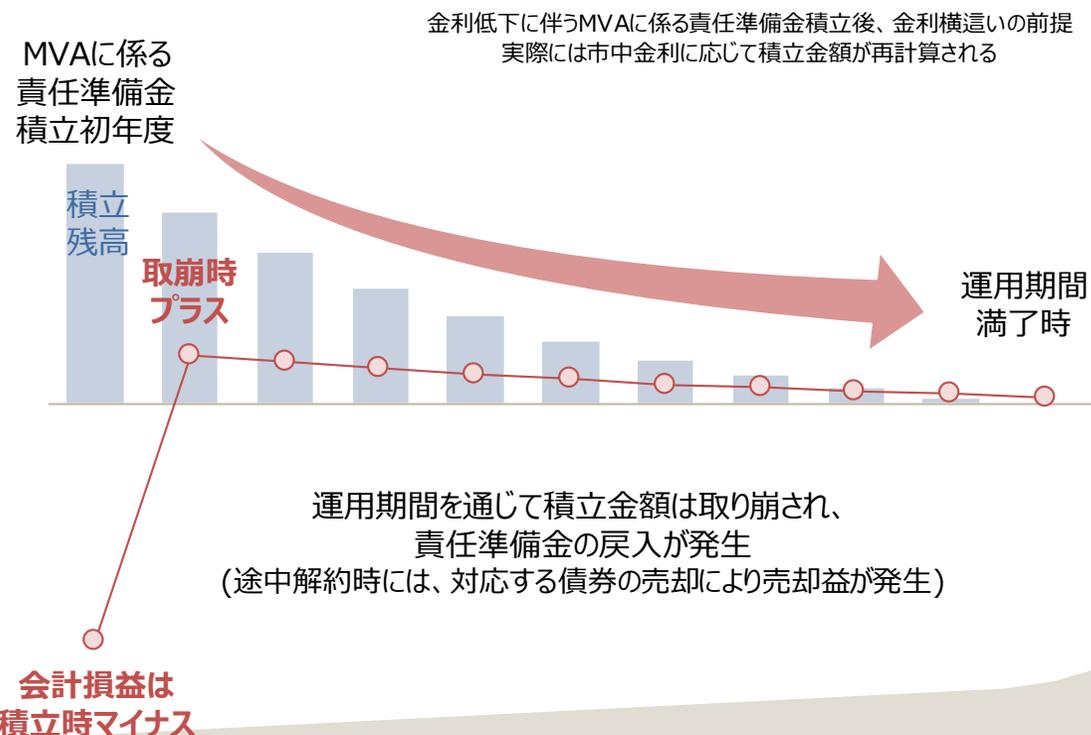
- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含めない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



各期末における会計上の負債評価額は、①または②の大きい金額となり、金利低下により② > ①となる場合、差額の責任準備金の積立を実施

MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



[米プロテクトティブ・豪TAL] 営業の状況 – セグメント別営業業績



Dai-ichi Life
Holdings

米プロテクトティブ 営業業績

(百万米ドル)	20/12期	21/12期	前期比	(%)
リテール保険&年金事業	2,957	3,737	+ 780	+ 26%
伝統的保険	261	259	△ 2	△ 1%
ユニバーサル保険	84	97	+ 13	+ 15%
BOLI/COLI ⁽¹⁾	-	1,033	+ 1,033	-
定額年金	2,293	1,372	△ 921	△ 40%
変額年金	317	976	+ 659	+ 208%
ステーブルバリュー事業	2,328	4,335	+ 2,007	+ 86%
アセットプロテクション事業	498	739	+ 241	+ 48%

豪TAL 営業業績⁽²⁾⁽³⁾

(百万豪ドル)	21/3期	22/3期	前期比	(%)
新契約年換算保険料	154	151	△ 2	△ 2%
(TAL) 個人保険	71	85	+ 13	+ 19%
団体保険	79	65	△ 13	△ 17%
アステロン・ライフ	2	-	△ 2	-
既契約増減	133	464	+ 331	+ 249%
(TAL) 個人保険	128	251	+ 122	+ 95%
団体保険	△ 112	213	+ 326	-
アステロン・ライフ	116	-	△ 116	-

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

(1) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険です

21/12期1Qより、PLCのリテール保険&年金事業において販売したBOLI/COLI商品の実績を記載しています

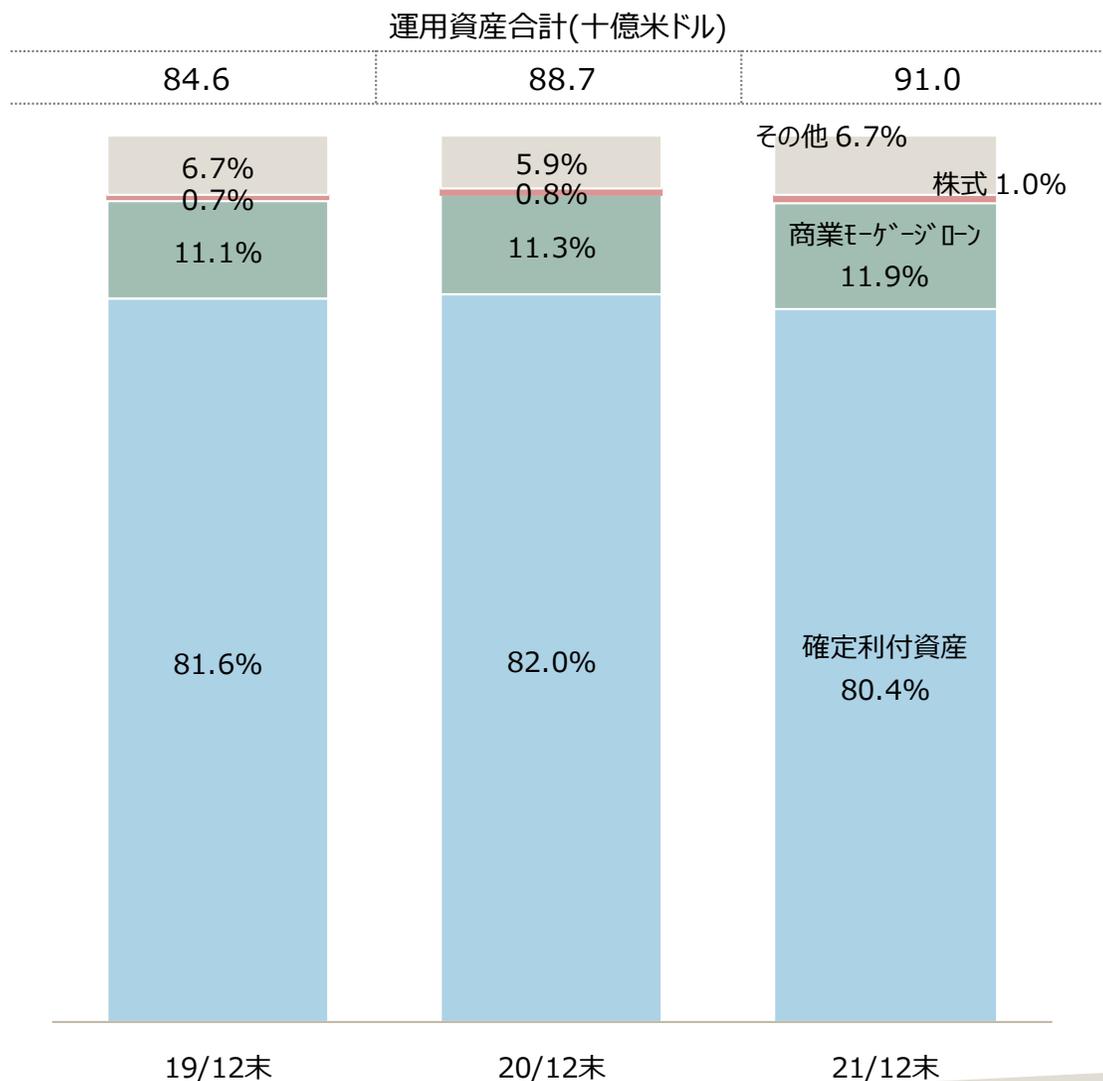
(2) 21/3期1Qより、新契約年換算保険料の計上基準を変更し、従来含めていた既契約増減を除いています

(3) 22/3期3Qより、全保有契約等のTALへの移転・統合に伴い、旧アステロン・ライフの新契約年換算保険料・既契約増減を(TAL)個人保険・団体保険に含めて記載しています



[米プロテクティブ] 資産運用の状況 – 運用資産構成

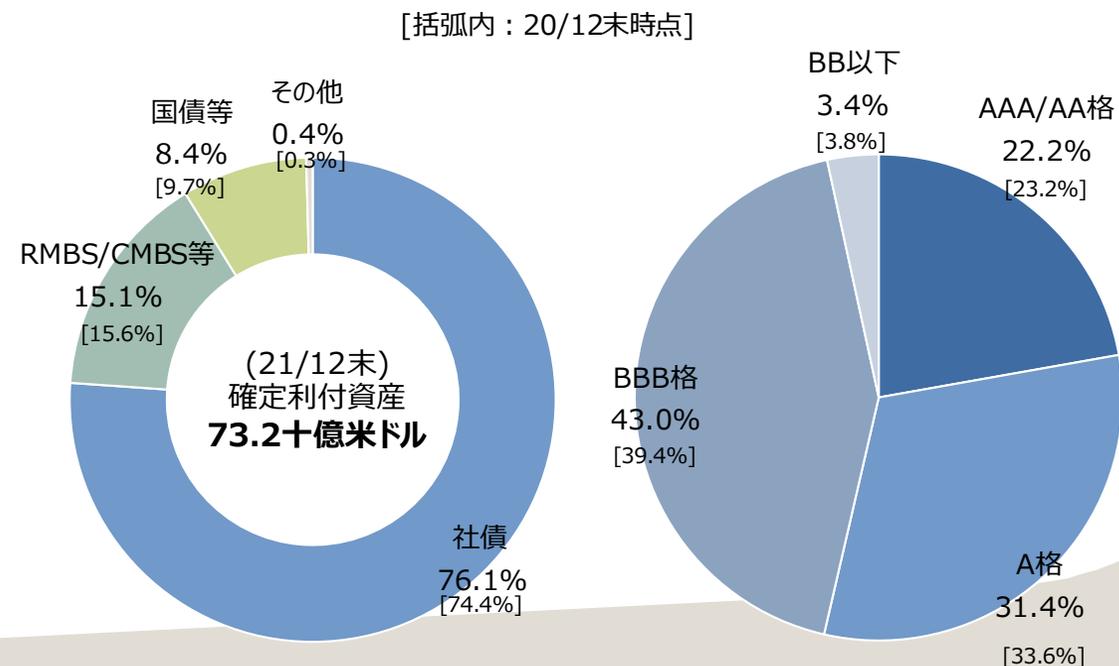
運用資産の構成(一般勘定) (1)



商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	20/12末	21/12末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	10,227	10,966	+ 738
不良債権	2	-	△ 2
貸倒引当金	222	103	△ 119
(対ローン残高)	2.2%	0.9%	△ 1.23%pt

確定利付資産の内訳および格付構成



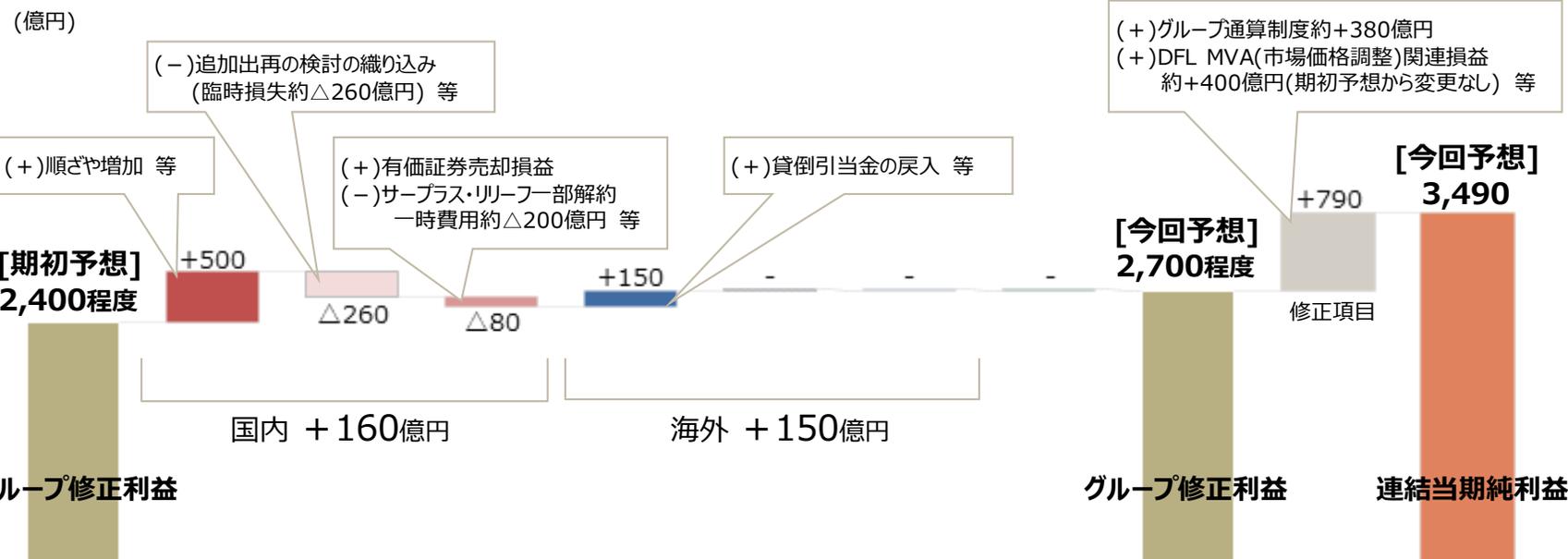
(1) 貸借対照表価額ベース



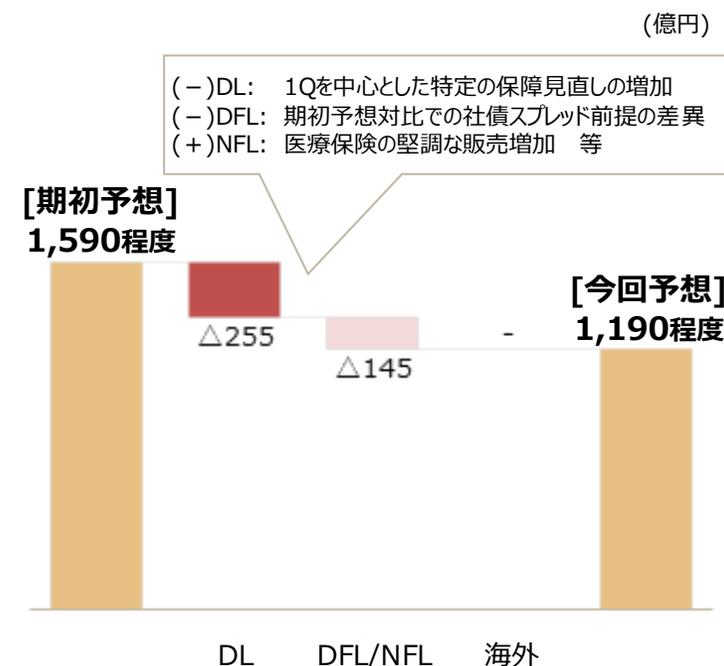
[再掲] 2022年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想 – 変動要因(期初予想対比)

- ▶ グループ修正利益は、DL運用収支の改善を踏まえた追加出再の検討やDFLにおける一時費用等を織り込みつつ、通期予想を2,700億円程度へ上方修正
連結純利益は、グループ修正利益の増加に加え、来期より適用検討中のグループ通算制度導入に伴い、当期末に繰延税金資産の増加が見込まれることを反映し、3,490億円に上方修正(なお、制度導入を前提に、DFLの資本効率等の観点から、修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の一部解約(費用発生)を実施予定)
- ▶ グループ新契約価値は、2Q実績等を踏まえて国内各社の見通しを修正し、グループ全体で1,190億円程度へ下方修正

グループ修正利益予想・期初予想比変動要因



グループ新契約価値予想・期初予想比変動要因



	DL ⁽¹⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾ キャピタル・臨時損益等	DFL/NFL	米PLC	豪TAL	その他 海外	アセットマネジメント その他	グループ修正利益	修正項目	連結当期純利益
今回予想	4,500程度	△2,500	30	460	100	130	10	2,700程度	+790	3,490
期初予想(5月)	4,000程度	△2,240	110	310	100	130	10	2,400程度	+390	2,790

(グループ修正利益からの増減金額)

	DL	DFL/NFL	海外	グループ新契約価値
今回予想	635	245	310	1,190程度
期初予想	890	390	310	1,590程度

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています



[再掲] グループ通算制度導入による影響

- ▶ 当社は、国内グループ各社の税務コスト適正化と税務ガバナンス向上を目的として、来期(23/3期)より、グループ通算制度を導入予定(税務当局の承認が前提)
- ▶ グループ通算制度の導入により、国内子会社の繰延税金資産の回収可能性をグループ単位で判定することが可能となるため、当期末(22/3期末)において、繰延税金資産を計上し、連結純資産および連結当期純利益が約380億円増加する見込み(グループ修正利益には含めない)
来期以降は、通算グループ内の所得と欠損を通算することから、現在の各社による単体納税と比較し、全体の税金費用負担は軽減する見込み(グループ修正利益に含む)
- ▶ また、DFLにおいて、繰延税金資産の計上に伴い純資産が増加し、健全性が改善することから、修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の一部解約を実施する予定
これにより、DFLは当期(22/3期)に約△200億円の一時費用を計上するものの、来期以降、毎期一定の利益改善を見込む(グループ修正利益に含む)

グループ通算制度の導入

[導入時期] 2023年3月期(来期) ※税務当局の承認が前提

[対象会社] 第一生命ホールディングスおよび国内100%出資子会社(全16社)

[導入効果]

(当期: 22/3期)

- ✓ 従来認識できなかった繰延税金資産の一部について、回収可能性をグループ単位で判定することが可能となり、繰延税金資産および純資産が増加

[連結純利益・連結純資産]
約380億円増加見込み(主にDFL)
※グループ修正利益には含めない

(来期以降: 23/3期以降)

- ✓ 国内グループ各社の所得と欠損を通算することから、現在の各社による単体納税と比較し、グループ全体の税金費用負担は軽減する見込み

※グループ修正利益に含む

当期(22/3期)の影響(連結)

資産	負債
繰延税金資産	純資産
利益剰余金	
増加	増加

DFLにおける修正共同保険式再保険(サープラス・リリーフ)の一部解約

[サープラス・リリーフについて]

- ✓ 保険会社の新契約費未回収リスクを軽減する再保険契約(会計上は新契約費負担を平準化する効果)
- ✓ 初年度以降、契約期間にわたり償却

[実施効果] ※グループ修正利益に含む

(当期: 22/3期)

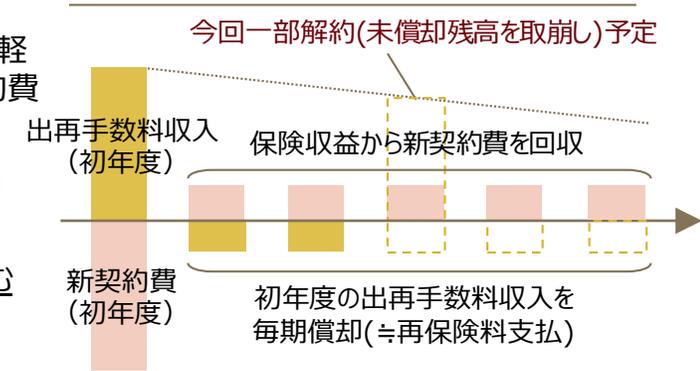
- ✓ グループ通算制度の導入によりDFLにおいて繰延税金資産が計上され純資産が増加し、健全性が改善することから、当期末までにサープラス・リリーフの一部解約を実施予定 ※再保険会社の合意が前提
- ✓ 未償却残高相当分は一括費用計上される

[グループ修正利益・連結純利益・連結純資産] 約△200億円減少

(来期以降: 23/3期以降)

- ✓ 償却負担(≒再保険会社への再保険料等支払、リスクチャージ含む)が不要となり、毎期一定の利益改善を見込む

サープラス・リリーフと新契約費の関係(イメージ)



グループ修正利益



Dai-ichi Life
Holdings

		No.	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
(億円)												
国内生命保険事業												
第一生命	当期利益	1	514	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286	1,960	1,997
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過分、税後)	2	499	249	192	129	129	-	-	216	△216	-
	調整 (2) 価格変動準備金繰入額 (法定超過分、税後)	3	-	97	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 関連損益 (税後)	4	0	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0
	調整 (4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	-	△14	-	-	-
	調整額合計	6	499	340	189	125	127	△0	△14	216	△216	△0
	修正利益	7	1,013	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,502	1,744	1,997
第一フロンティア生命	当期利益	8	△265	△152	△219	243	502	370	199	△1,000	863	1,386
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過額、税後)	9	153	-	-	-	-	-	-	△300	480	15
	調整 (2) 価格変動準備金繰入額 (法定超過額、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 関連損益 (税後)	11	1	△9	469	75	△270	△79	7	1,935	△772	△815
	調整 (4) グループ通算制度の導入	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△395
	調整額合計	13	154	△9	469	75	△270	△79	7	1,635	△292	△1,196
	修正利益	14	△111	△161	249	318	232	291	207	634	571	190
ネオファースト生命	当期利益	15	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△68
	調整 グループ通算制度の導入	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△13
	修正利益	17	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△141	△81
国内生命保険事業修正利益		18	902	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974	2,174	2,106
海外保険事業												
プロテクト	修正利益	19	-	-	-	323	457	349	335	507	374	549
TAL	修正利益	20	89	86	121	103	127	105	98	110	152	123
第一生命ベトナム	修正利益	21	5	10	13	5	5	△20	2	60	59	141
海外保険事業修正利益		22	98	108	157	457	615	468	469	703	602	830
Dai-ichi Re	修正利益	23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
その他事業(アセットマネジメント事業)	修正利益	24	18	44	61	59	58	53	104	120	99	52
持株会社・中間持株会社	修正利益	25	-	-	-	-	0	3	△35	△44	△40	△20
連結調整	調整 (1) 受取配当相殺	26	17	27	36	135	44	-	-	-	-	-
	調整 (2) TAL優先株配当	27	-	-	-	-	-	-	10	8	7	7
	調整 (3) のれん償却額	28	38	51	86	63	56	70	82	564	57	69
	調整 (4) 持分変動益 (第一生命)	29	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
	調整 (5) 持分変動益 (持株会社)	30	-	-	-	-	△124	△335	-	-	△349	-
	調整 (6) 米国法人税減税	31	-	-	-	-	-	△901	-	-	-	-
	調整 (7) その他	32	△14	△1	△22	△3	0	39	23	5	△8	△5
グループ修正利益 (項番33=18+22+23+24+25-26-27)		33	1,000	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961
連結当期純利益 (項番34=33-6-13-28-29-30-31-32)		34	324	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	324	3,637	4,093



修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
 第一フロンティア生命・プロテクトイブ: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	22/3期
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.5%	7.6%	9.5%	8.9%	8.0%
分子 (修正利益)	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961
分母 (年度始・年度末平均)	28,565	30,958	28,753	31,723	37,146
分母 (年度末)	31,008	30,907	26,599	36,847	37,444
[分母算出]					
純資産	37,479	37,124	37,758	48,062	44,078
(-) のれん	514	489	394	426	562
(-) 確定利付資産含み損益	6,035	5,956	12,588	12,005	6,287
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	79	228	1,824	1,218	216
修正ROE用純資産	31,008	30,907	26,599	36,847	37,444
うち株主資本	15,896	17,088	16,415	18,936	19,963
第一生命 修正ROE	8.0%	7.6%	7.9%	8.4%	8.2%
分子 (修正利益)	1,698	1,714	1,502	1,744	1,997
分母 (年度始・年度末平均)	21,274	22,436	19,138	20,771	24,505
分母 (年度末)	23,096	21,777	16,500	25,043	23,967
[分母算出]					
純資産	28,882	28,852	25,499	31,902	27,569
(-) 確定利付資産含み損益	5,786	7,075	8,998	6,858	3,602
修正ROE用純資産	23,096	21,777	16,500	25,043	23,967
うち株主資本	6,960	6,841	6,301	6,791	6,315

グループ修正利益の定義



[調整①] [危険準備金繰入額、価格変動準備金繰入額 等 (法定超過分、税後)]
 加えて海外子会社・関連会社の内部留保があれば状況に応じて調整

[調整②] [MVA (市場価格調整)関連損益(税後) 等]
 実質的でない会計上の評価損益を調整

[調整③] [のれん償却、段階取得損益、持分変動損益 等]
 各社連結手続き上の組織再編関連損益やのれん償却等を調整

(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益を定義としています



株主還元方針

株主還元方針

機動的・柔軟な追加還元の検討 (21/3期より)

- 総還元性向の目安 中期平均 50%

追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

[自己株式消却方針]

用途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、用途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、適切な時期に自己株式の消却を行います

総還元性向の推移イメージ

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

+

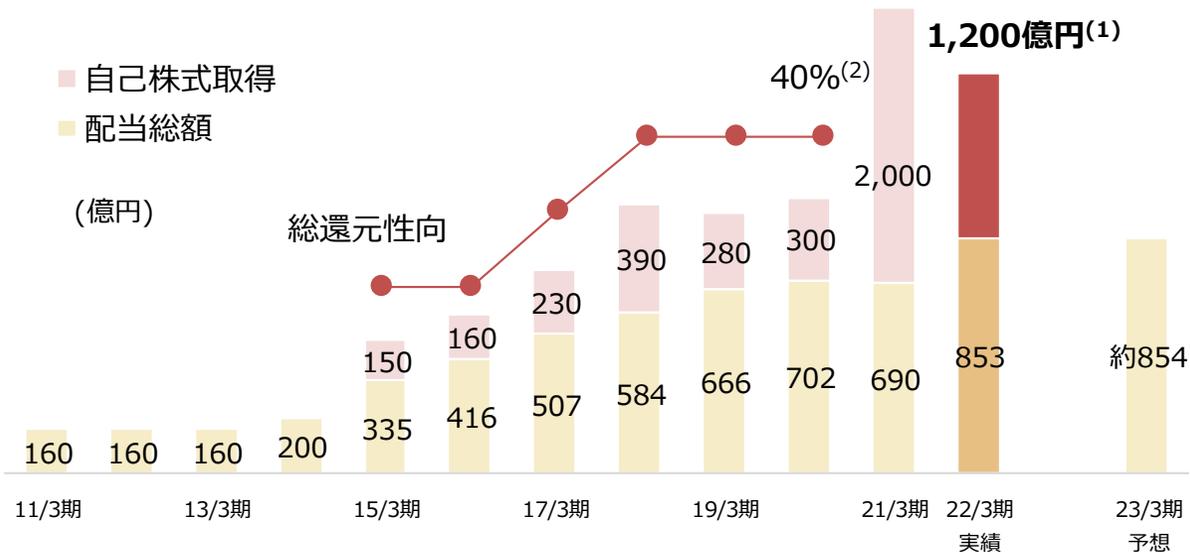
[配当性向の推移イメージ]

利益に応じた安定配当 (22/3期より)

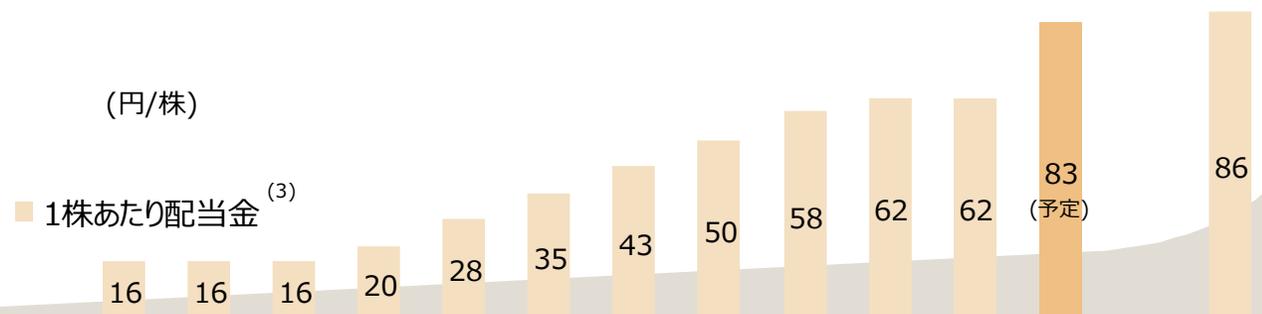
[配当性向] 每期 30%以上

- グループ修正利益過去3年平均をベース
- 1株あたり配当の減配は原則行わない

株主還元の推移



グループ修正利益	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828	2,961	2,700
過去3年平均							2,829



(1) 2022年5月12日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額

(2) DLにおける金融派生商品の一時的な上振れ要因等を控除した実質的なグループ修正利益水準を基に算出

(3) 13/3期以前については株式分割後の換算値

第一生命グループ – 連結財務諸表(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

連結損益計算書

(億円)	21/3期	22/3期	増減
経常収益	78,278	82,097	+ 3,819
保険料等収入	47,303	52,919	+ 5,616
資産運用収益	27,195	25,511	△ 1,684
利息・配当金等収入	13,478	13,867	+ 389
有価証券売却益	4,713	3,935	△ 778
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	4,449	4,530	+ 81
特別勘定資産運用益	2,776	760	△ 2,015
その他経常収益	3,779	3,666	△ 112
経常費用	72,749	76,188	+ 3,438
保険金等支払金	50,011	58,557	+ 8,545
責任準備金等繰入額	9,712	3,168	△ 6,544
資産運用費用	3,266	3,811	+ 545
有価証券売却損	1,270	2,345	+ 1,075
有価証券評価損	143	78	△ 64
金融派生商品費用	680	401	△ 279
為替差損	-	-	-
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	6,890	7,521	+ 631
経常利益	5,528	5,908	+ 380
特別利益	404	107	△ 297
特別損失	333	397	+ 64
契約者配当準備金繰入額	775	875	+ 100
税金等調整前当期純利益	4,825	4,743	△ 81
法人税等合計	1,187	650	△ 537
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	3,637	4,093	+ 455

連結貸借対照表

(億円)	21/3末	22/3末	増減
資産の部合計	635,937	658,811	+ 22,874
現預金・コール	22,878	26,637	+ 3,759
買入金銭債権	2,521	2,559	+ 37
有価証券	508,799	515,047	+ 6,248
貸付金	37,626	39,785	+ 2,159
有形固定資産	11,132	11,597	+ 464
繰延税金資産	120	93	△ 26
負債の部合計	587,865	614,726	+ 26,860
保険契約準備金	510,514	527,459	+ 16,945
責任準備金	498,972	514,076	+ 15,103
社債	8,997	8,703	△ 293
その他負債	46,712	59,067	+ 12,355
退職給付に係る負債	4,185	3,925	△ 260
価格変動準備金	2,644	2,873	+ 229
繰延税金負債	5,583	2,563	△ 3,020
純資産の部合計	48,071	44,085	△ 3,986
株主資本合計	18,936	19,963	+ 1,026
その他の包括利益累計額合計	29,125	24,115	△ 5,010
その他有価証券評価差額金	30,563	23,979	△ 6,583
土地再評価差額金	△ 220	166	+ 386

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)



損益計算書

(億円)	21/3期	22/3期	増減
経常収益	38,117	44,508	+ 6,391
保険料等収入	22,854	22,761	△ 93
資産運用収益	13,571	12,470	△ 1,100
利息・配当金等収入	8,365	8,311	△ 54
有価証券売却益	3,712	3,511	△ 201
金融派生商品収益	-	-	-
特別勘定資産運用益	1,278	414	△ 864
その他経常収益	1,691	9,276	+ 7,585
経常費用	34,379	40,719	+ 6,340
保険金等支払金	23,646	30,159	+ 6,513
責任準備金等繰入額	288	448	+ 159
資産運用費用	4,081	3,616	△ 464
有価証券売却損	1,253	2,215	+ 962
有価証券評価損	12	84	+ 71
金融派生商品費用	1,728	386	△ 1,342
為替差損	315	104	△ 210
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	4,037	4,102	+ 64
その他経常費用	2,324	2,391	+ 67
減価償却費	363	396	+ 32
経常利益 (△は損失)	3,737	3,789	+ 51
特別利益	54	104	+ 49
特別損失	275	334	+ 58
契約者配当準備金繰入額	775	875	+ 100
税引前当期純利益 (△は損失)	2,742	2,683	△ 58
法人税等合計	781	686	△ 95
当期純利益 (△は損失)	1,960	1,997	+ 37

貸借対照表

(億円)	21/3末	22/3末	増減
資産の部合計	389,243	386,815	△ 2,428
現預金・コール	7,838	9,218	+ 1,380
買入金銭債権	2,521	2,398	△ 122
有価証券	334,670	327,408	△ 7,261
貸付金	25,760	25,691	△ 68
有形固定資産	10,861	11,281	+ 419
繰延税金資産	-	-	-
負債の部合計	357,341	359,245	+ 1,904
保険契約準備金	308,444	301,317	△ 7,127
責任準備金	302,953	295,338	△ 7,615
危険準備金	5,998	5,998	-
社債	4,762	3,687	△ 1,075
その他負債	33,402	43,713	+ 10,311
退職給付引当金	4,001	3,983	△ 18
価格変動準備金	2,334	2,504	+ 170
繰延税金負債	3,122	1,154	△ 1,967
純資産の部合計	31,902	27,569	△ 4,332
株主資本合計	6,791	6,315	△ 476
評価・換算差額等合計	25,110	21,254	△ 3,856
その他有価証券評価差額金	25,366	21,304	△ 4,061
土地再評価差額金	△ 220	166	+ 386

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

損益計算書

(億円)	21/3期	22/3期	増減
経常収益	22,171	22,146	△ 24
保険料等収入	11,675	15,030	+ 3,355
資産運用収益	10,495	7,115	△ 3,379
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	-
為替差益	4,782	4,657	△ 125
経常費用	21,023	20,914	△ 108
保険金等支払金	16,142	16,953	+ 811
責任準備金等繰入額	4,334	3,104	△ 1,229
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	△55	32	+ 88
危険準備金繰入額	480	28	△ 452
資産運用費用	19	216	+ 197
最低保証リスクに対するヘッジ損失	99	27	△ 72
為替差損	-	-	-
事業費	439	518	+ 79
経常利益 (△は損失)	1,147	1,231	+ 83
特別利益	0	-	△ 0
特別損失	56	59	+ 2
法人税等合計	227	△215	△ 442
当期純利益 (△は損失)	863	1,386	+ 523

【参考】

当期純利益 (△は損失)	863	1,386	+ 523
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益 ⁽¹⁾	485	412	△ 73
その他キャピタル・その他臨時損益	387	△46	△ 434
MVA(市場価格調整)関連損益 ⁽²⁾	755	893	+ 137
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△764	127	+ 892

貸借対照表

(億円)	21/3末	22/3末	増減
資産の部合計	96,989	99,370	+ 2,381
現預金・コール	7,901	10,521	+ 2,620
有価証券	75,143	73,114	△ 2,029
負債の部合計	94,167	96,710	+ 2,542
保険契約準備金	82,133	85,237	+ 3,104
責任準備金	81,894	84,991	+ 3,096
(MVA残高)	1,692	300	△ 1,392
危険準備金	1,113	1,141	+ 28
純資産の部合計	2,821	2,660	△ 161
株主資本合計	1,363	2,750	+ 1,386
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△486	900	+ 1,386
その他有価証券評価差額金	1,457	△90	△ 1,548

- (1) 最低保証リスクに関連した損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変額商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む(21/3期: △8億円、22/3期: △6億円)
- (2) MVA(市場価格調整)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテクトィブ – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



Dai-ichi Life
Holdings

損益計算書

(百万米ドル)	20/12期	21/12期	増減
経常収益	12,107	13,400	+ 1,292
保険料等収入	5,902	6,321	+ 418
資産運用収益	4,284	5,326	+ 1,041
その他経常収益	1,920	1,752	△ 167
経常費用	11,645	12,821	+ 1,175
保険金等支払金	5,855	6,156	+ 300
責任準備金等繰入額	3,871	5,079	+ 1,208
資産運用費用	627	108	△ 519
事業費	1,025	1,116	+ 91
その他経常費用	266	361	+ 95
経常利益 (△は損失)	461	578	+ 116
特別利益	-	-	-
特別損失	0	203	+ 202
法人税等合計	98	97	△ 1
当期純利益 (△は損失)	362	277	△ 84

貸借対照表

(百万米ドル)	20/12末	21/12末	増減
資産の部合計	126,908	131,895	+ 4,987
現預金	814	726	△ 87
有価証券	87,534	90,603	+ 3,069
貸付金	11,825	12,499	+ 674
有形固定資産	218	227	+ 8
無形固定資産	3,167	3,121	△ 45
のれん	825	752	△ 73
その他の無形固定資産	2,309	2,338	+ 29
再保険貸	14,784	15,380	+ 596
負債の部合計	115,552	121,569	+ 6,016
保険契約準備金	105,121	110,561	+ 5,439
再保険借	486	508	+ 21
社債	1,670	1,666	△ 4
その他負債	6,329	7,220	+ 891
純資産の部合計	11,355	10,326	△ 1,029
株主資本合計	7,848	7,944	+ 96
その他の包括利益累計額合計	3,507	2,381	△ 1,125

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示



損益計算書

(百万豪ドル)	21/3期	22/3期	増減
経常収益	6,267	6,405	+ 137
保険料等収入	5,670	6,219	+ 548
資産運用収益	191	1	△ 190
その他経常収益	404	185	△ 219
経常費用	6,013	6,242	+ 228
保険金等支払金	4,816	4,901	+ 84
責任準備金等繰入額	104	-	△ 104
資産運用費用	30	157	+ 126
事業費	879	983	+ 103
その他経常費用	182	199	+ 17
経常利益 (△は損失)	253	163	△ 90
特別損益	-	-	-
法人税等合計	82	37	△ 45
当期純利益 (△は損失)	171	126	△ 45
基礎的収益力	219	292	+ 72

貸借対照表

(百万豪ドル)	21/3末	22/3末	増減
資産の部合計	13,269	14,041	+ 772
現預金	1,000	904	△ 95
有価証券	6,902	7,077	+ 174
有形固定資産	33	30	△ 2
無形固定資産	1,066	1,039	△ 27
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	280	252	△ 27
再保険貸	179	183	+ 3
その他資産	3,946	4,706	+ 760
繰延税金資産	140	99	△ 40
負債の部合計	9,992	10,708	+ 716
保険契約準備金	7,919	8,320	+ 400
再保険借	684	1,029	+ 344
社債	243	-	△ 243
その他負債	1,144	1,358	+ 214
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,276	3,333	+ 56
株主資本合計	3,276	3,333	+ 56
資本金	2,130	2,130	-
利益剰余金	1,146	1,202	+ 56

第一生命ベトナム – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



Dai-ichi Life
Holdings

損益計算書

(十億越ドン)	20/12期	21/12期	増減
経常収益	18,208	21,727	+ 3,519
保険料等収入	16,381	19,555	+ 3,174
資産運用収益	1,826	2,169	+ 343
その他経常収益	1	2	+ 1
経常費用	16,568	18,240	+ 1,672
保険金等支払金	2,884	3,711	+ 826
責任準備金等繰入額	5,833	6,040	+ 207
資産運用費用	0	0	+ 0
事業費	7,750	8,406	+ 655
その他経常費用	100	83	△ 17
経常利益 (△は損失)	1,639	3,486	+ 1,846
特別利益	3	72	+ 69
特別損失	0	0	+ 0
法人税等合計	328	728	+ 400
当期純利益 (△は損失)	1,314	2,830	+ 1,515

貸借対照表

(十億越ドン)	20/12末	21/12末	増減
資産の部合計	37,400	46,392	+ 8,991
現預金	8,782	9,106	+ 324
有価証券	22,705	29,860	+ 7,155
貸付金	800	977	+ 177
有形固定資産	100	114	+ 14
無形固定資産	51	42	△ 9
再保険貸	-	-	-
負債の部合計	26,683	32,844	+ 6,161
保険契約準備金	24,130	30,170	+ 6,040
再保険借	37	232	+ 195
その他負債	2,511	2,437	△ 73
純資産の部合計	10,717	13,547	+ 2,830
株主資本合計	10,717	13,547	+ 2,830

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクトイブ			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
	21/3期	22/3期	増減	21/3期	22/3期	増減	21/3期	22/3期	増減	20/12期	21/12期	増減	21/3期	22/3期	増減	20/12期	21/12期	増減	21/3期	22/3期	増減
経常収益	38,117	44,508	+ 6,391	22,171	22,146	△ 24	1,598	1,918	+ 319	12,531	15,412	+ 2,881	5,287	5,891	+ 604	819	1,086	+ 267	78,278	82,097	+ 3,819
保険料等収入	22,854	22,761	△ 93	11,675	15,030	+ 3,355	1,595	1,913	+ 318	6,109	7,270	+ 1,161	4,783	5,721	+ 937	737	977	+ 240	47,303	52,919	+ 5,616
資産運用収益	13,571	12,470	△ 1,100	10,495	7,115	△ 3,379	2	4	+ 1	4,434	6,126	+ 1,691	161	△0	△ 162	82	108	+ 26	27,195	25,511	△ 1,684
利息・配当金等収入	8,365	8,311	△ 54	1,801	1,731	△ 70	2	3	+ 1	3,208	3,700	+ 491	19	△0	△ 19	79	100	+ 20	13,478	13,867	+ 389
有価証券売却益	3,712	3,511	△ 201	948	369	△ 578	-	0	+ 0	52	54	+ 1	-	-	-	-	-	-	4,713	3,935	△ 778
金融派生商品収益	-	-	-	1,227	-	△ 1,227	-	-	-	-	42	+ 42	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差益	-	-	-	4,782	4,657	△ 125	-	-	-	-	-	-	4	0	△ 4	-	-	-	4,449	4,530	+ 81
特別勘定資産運用益	1,278	414	△ 864	1,498	346	△ 1,151	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,776	760	△ 2,015
その他経常収益	1,691	9,276	+ 7,585	0	0	△ 0	0	0	+ 0	1,988	2,016	+ 28	341	170	△ 170	0	0	+ 0	3,779	3,666	△ 112
経常費用	34,379	40,719	+ 6,340	21,023	20,914	△ 108	1,739	1,998	+ 259	12,053	14,747	+ 2,694	5,072	5,741	+ 668	745	912	+ 166	72,749	76,188	+ 3,438
保険金等支払金	23,646	30,159	+ 6,513	16,142	16,953	+ 811	533	954	+ 421	6,060	7,080	+ 1,020	4,063	4,509	+ 446	129	185	+ 55	50,011	58,557	+ 8,545
責任準備金等繰入額	288	448	+ 159	4,334	3,104	△ 1,229	916	684	△ 231	4,006	5,842	+ 1,835	87	-	△ 87	262	302	+ 39	9,712	3,168	△ 6,544
資産運用費用	4,081	3,616	△ 464	19	216	+ 197	0	0	△ 0	649	125	△ 524	25	143	+ 117	0	0	+ 0	3,266	3,811	+ 545
有価証券売却損	1,253	2,215	+ 962	12	128	+ 116	-	-	-	5	1	△ 3	-	-	-	-	-	-	1,270	2,345	+ 1,075
有価証券評価損	12	84	+ 71	-	-	-	-	-	-	130	△6	△ 136	-	-	-	-	-	-	143	78	△ 64
金融派生商品費用	1,728	386	△ 1,342	-	58	+ 58	-	-	-	179	-	△ 179	-	-	-	-	-	-	680	401	△ 279
為替差損	315	104	△ 210	-	-	-	-	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	0	0	+ 0	-	-	-
特別勘定資産運用損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業費	4,037	4,102	+ 64	439	518	+ 79	278	343	+ 64	1,061	1,284	+ 222	742	904	+ 162	348	420	+ 71	6,890	7,521	+ 631
経常利益 (△は損失)	3,737	3,789	+ 51	1,147	1,231	+ 83	△141	△80	+ 60	477	665	+ 187	214	150	△ 64	73	174	+ 100	5,528	5,908	+ 380
特別利益	54	104	+ 49	0	-	△ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	3	+ 3	404	107	△ 297
特別損失	275	334	+ 58	56	59	+ 2	0	0	+ 0	0	233	+ 232	-	-	-	0	0	+ 0	333	397	+ 64
契約者配当準備金繰入額	775	875	+ 100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	775	875	+ 100
税金等調整前当期純利益	2,742	2,683	△ 58	1,091	1,171	+ 80	△141	△81	+ 60	476	431	△ 45	214	150	△ 64	73	177	+ 104	4,825	4,743	△ 81
法人税等合計	781	686	△ 95	227	△215	△ 442	0	△12	△ 12	102	112	+ 10	69	34	△ 35	14	36	+ 21	1,187	650	△ 537
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
当期純利益 (△は損失)	1,960	1,997	+ 37	863	1,386	+ 523	△141	△68	+ 72	374	319	△ 55	144	115	△ 28	59	141	+ 82	3,637	4,093	+ 455

主要子会社別貸借対照表(要約)



(億円)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクティブ			豪TAL			第一生命ベトナム			連結		
	21/3末	22/3末	増減	21/3末	22/3末	増減	21/3末	22/3末	増減	20/12末	21/12末	増減	21/3末	22/3末	増減	20/12末	21/12末	増減	21/3末	22/3末	増減
資産の部合計	389,243	386,815	△ 2,428	96,989	99,370	+ 2,381	3,528	4,151	+ 623	131,349	151,706	+ 20,356	11,194	12,918	+ 1,724	1,683	2,319	+ 636	635,937	658,811	+ 22,874
現預金・コール	7,838	8,389	+ 550	7,901	10,521	+ 2,620	2,489	2,692	+ 202	842	835	△ 6	844	832	△ 11	395	455	+ 60	22,878	25,807	+ 2,929
買入金銭債権	2,521	2,398	△ 122	-	160	+ 160	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,521	2,559	+ 37
有価証券	334,670	327,408	△ 7,261	75,143	73,114	△ 2,029	628	823	+ 194	90,597	104,211	+ 13,613	5,823	6,511	+ 688	1,021	1,493	+ 471	508,799	515,047	+ 6,248
貸付金	25,760	25,691	△ 68	-	-	-	13	17	+ 4	12,239	14,377	+ 2,138	13	12	△ 0	36	48	+ 12	37,626	39,785	+ 2,159
有形固定資産	10,861	11,281	+ 419	5	13	+ 7	2	3	+ 1	226	261	+ 35	28	28	△ 0	4	5	+ 1	11,132	11,597	+ 464
無形固定資産	1,194	1,285	+ 91	121	154	+ 32	43	63	+ 19	3,278	3,590	+ 312	900	956	+ 56	2	2	△ 0	4,451	5,027	+ 576
繰延税金資産	-	-	-	-	426	+ 426	-	13	+ 13	-	-	-	118	91	△ 26	3	3	+ 0	120	93	△ 26
負債の部合計	357,341	359,245	+ 1,904	94,167	96,710	+ 2,542	3,335	4,030	+ 694	119,596	139,829	+ 20,232	8,227	9,649	+ 1,422	1,200	1,642	+ 441	587,865	614,726	+ 26,860
保険契約準備金	308,444	301,317	△ 7,127	82,133	85,237	+ 3,104	3,276	3,961	+ 684	108,800	127,167	+ 18,366	6,681	7,655	+ 973	1,085	1,508	+ 422	510,514	527,459	+ 16,945
責任準備金	302,953	295,338	△ 7,615	81,894	84,991	+ 3,096	3,257	3,928	+ 671	107,826	125,902	+ 18,076	1,899	1,840	△ 58	1,050	1,462	+ 412	498,972	514,076	+ 15,103
社債	4,762	3,687	△ 1,075	-	-	-	-	-	-	1,729	1,916	+ 187	205	-	△ 205	-	-	-	8,997	8,703	△ 293
その他負債	33,402	43,713	+ 10,311	3,961	4,734	+ 772	53	64	+ 10	6,550	8,305	+ 1,754	762	1,047	+ 284	113	121	+ 8	46,712	59,067	+ 12,355
退職給付に係る負債	4,001	3,983	△ 18	-	-	-	-	-	-	116	94	△ 21	-	-	-	0	0	+ 0	4,185	3,925	△ 260
価格変動準備金	2,334	2,504	+ 170	309	368	+ 59	0	0	+ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,644	2,873	+ 229
繰延税金負債	3,122	1,154	△ 1,967	566	-	△ 566	0	-	△ 0	1,896	1,760	△ 135	-	-	-	-	-	-	5,583	2,563	△ 3,020
純資産の部合計	31,902	27,569	△ 4,332	2,821	2,660	△ 161	192	121	△ 71	11,753	11,877	+ 124	2,966	3,268	+ 301	482	677	+ 195	48,071	44,085	△ 3,986
株主資本合計	6,791	6,315	△ 476	1,363	2,750	+ 1,386	191	122	△ 68	9,146	9,265	+ 118	3,024	3,062	+ 37	537	679	+ 141	18,936	19,963	+ 1,026
その他の包括利益累計額合計	25,110	21,254	△ 3,856	1,457	△ 90	△ 1,548	1	△ 1	△ 2	2,606	2,612	+ 5	△ 57	206	+ 263	△ 55	△ 1	+ 53	29,125	24,115	△ 5,010
その他有価証券評価差額金	25,366	21,304	△ 4,061	1,457	△ 90	△ 1,548	1	△ 1	△ 2	3,689	2,775	△ 913	-	-	-	-	-	-	30,563	23,979	△ 6,583
土地再評価差額金	△ 220	166	+ 386	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△ 220	166	+ 386

第一生命グループ－連結ソルベンシー・マージン比率



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)	21/3末	22/3末	増減	
ソルベンシー・マージン総額 (A)	89,372	83,444	△ 5,928	
資本金等 ⁽¹⁾	15,191	15,613	+ 422	
価格変動準備金	2,644	2,873	+ 229	
危険準備金	7,129	7,159	+ 29	
一般貸倒引当金	3	2	△ 0	
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	37,579	29,463	△ 8,116	
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	2,556	3,617	+ 1,061	
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△128	119	+ 248	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,233	22,508	△ 724	
負債性資本調達手段等	10,312	10,037	△ 275	
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△7,314	△5,825	+ 1,488	
少額短期保険業者に係るマージン総額	-	0	+ 0	
控除項目	△2,557	△2,786	△ 228	
その他	722	659	△ 62	
リスクの合計額 (B) $\sqrt{[(R_1^2 + R_5^2) + R_8 + R_9]^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4 + R_6$	18,648	18,487	△ 160	
保険リスク相当額	R ₁	1,400	1,495	+ 94
一般保険リスク相当額	R ₅	39	41	+ 2
巨大災害リスク相当額	R ₆	13	15	+ 2
第三分野保険の保険リスク相当額	R ₈	1,899	1,854	△ 45
少額短期保険業者の保険リスク相当額	R ₉	-	0	+ 0
予定利率リスク相当額	R ₂	2,303	2,099	△ 204
最低保証リスク相当額	R ₇ ⁽²⁾	671	761	+ 90
資産運用リスク相当額	R ₃	14,932	14,873	△ 58
経営管理リスク相当額	R ₄	425	422	△ 2
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	958.5%	902.6%	△55.9%pt	

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く

(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社

経営企画ユニット IRグループ

電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。

2022年3月期決算報告 財務・業績の概況

①契約の状況等

		2021年3月末	2021年9月末	2022年3月末
新契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	228,885 (△31.9)	152,417 (+77.3)	313,104 (+36.8)
うち第一生命分	(百万円)	61,643 (△31.3)	39,081 (+124.8)	74,590 (+21.0)
うち第三分野	(百万円)	36,701 (△33.0)	26,270 (+189.5)	48,289 (+31.6)
うち第一フロンティア生命	(百万円)	77,556 (△35.3)	57,791 (+92.6)	117,938 (+52.1)
うちプロテクティブ	(百万円)	41,165 (+5.4)	27,559 (+42.6)	63,275 (+53.7)
うちTAL	(百万円)	12,995 (△76.3)	5,351 (+21.0)	13,956 (+7.4)
うち第一生命ベトナム	(百万円)	23,278 (+7.6)	15,407 (+66.0)	28,895 (+24.1)
保有契約年換算保険料(グループ)	(百万円)	4,054,629 (+2.1)	4,068,282 (+2.0)	4,234,372 (+4.4)
うち第一生命分	(百万円)	2,076,993 (△1.6)	2,066,523 (△0.7)	2,052,764 (△1.2)
うち第三分野	(百万円)	696,885 (+0.3)	705,132 (+2.6)	708,800 (+1.7)
うち第一フロンティア生命	(百万円)	861,007 (+6.6)	853,997 (+2.6)	898,391 (+4.3)
うちプロテクティブ	(百万円)	518,720 (△5.0)	544,975 (+1.6)	597,952 (+15.3)
うちTAL	(百万円)	384,013 (+27.0)	375,110 (+13.1)	449,791 (+17.1)
うち第一生命ベトナム	(百万円)	73,174 (+15.0)	87,311 (+32.2)	96,146 (+31.4)
連結保険料等収入	(百万円)	4,730,301 (△3.2)	2,422,852 (+15.3)	5,291,973 (+11.9)
うち第一生命	(百万円)	2,285,471 (△2.8)	1,098,328 (+1.1)	2,276,134 (△0.4)
うち個人保険分野	(百万円)	1,541,501 (△2.6)	728,018 (△1.2)	1,502,174 (△2.6)
うち団体保険分野	(百万円)	667,288 (△8.1)	321,627 (+2.4)	662,902 (△0.7)
うち第一フロンティア生命	(百万円)	1,167,555 (△13.9)	627,925 (+58.2)	1,503,071 (+28.7)
うちプロテクティブ	(百万円)	610,905 (△3.2)	343,946 (+9.6)	727,055 (+19.0)
うちTAL	(百万円)	478,387 (+38.4)	250,456 (+14.4)	572,155 (+19.6)
うち第一生命ベトナム	(百万円)	73,714 (+14.6)	44,278 (+41.6)	97,777 (+32.6)
保有契約高(国内グループ生保合算値)	(百万円)	105,447,331 (△4.7)	102,330,698 (△5.4)	99,940,506 (△5.2)
うち第一生命	(百万円)	94,676,970 (△6.1)	91,581,999 (△6.5)	88,475,962 (△6.5)
解約・失効年換算保険料(第一生命)	(百万円)	62,335 (△15.6)	32,864 (+13.6)	66,070 (+6.0)

* ()内は前年同期比増減率

- (注) 1. グループとは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクティブ、TAL、第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの8社
国内グループ生保とは第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の3社
2. プロテクティブ、第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの決算日は12月31日
3. 新契約年換算保険料(以下、新契約ANP)及び保有契約年換算保険料(以下、保有契約ANP)のうち、プロテクティブは損害保険事業、TALは団体保険を含む
プロテクティブの損害保険事業 : 2021年3月期 新契約ANP 7,542百万円 保有契約ANP 30,297百万円
2022年3月期第2四半期 新契約ANP 4,824百万円 保有契約ANP 31,657百万円
2022年3月期 新契約ANP 11,464百万円 保有契約ANP 43,061百万円
TALの団体保険 : 2021年3月期 新契約ANP 6,696百万円 保有契約ANP 204,577百万円
2022年3月期第2四半期 新契約ANP 1,846百万円 保有契約ANP 200,842百万円
2022年3月期 新契約ANP 6,055百万円 保有契約ANP 251,819百万円
ただし、TALの団体保険のうち2021年3月期以前の数値にはAsteron Life & Superannuation Limitedの団体保険は含まない
4. 保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険+個人年金、団体保険分野は団体保険+団体年金の合計保険料(再保険収入は含まない)
5. 保有契約高、解約・失効年換算保険料は個人保険+個人年金保険
6. 解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出、「減額」は含まない

②資産の状況等

		2021年3月末	2021年9月末	2022年3月末
連結総資産	(億円)	635,937 (+6.0)	657,888 (+4.8)	658,811 (+3.6)
連結実質純資産額	(億円)	119,248 (+7.2)	120,946 (+2.3)	104,242 (△12.6)
連結ソルベンシー・マージン比率	(%)	958.5	934.5	902.6

* ()内は前年同期比増減率

③基礎利益・順ざや・利回り等

		2021年3月期(改正前)	2022年3月期(改正前)	2023年3月期予想(改正後)
グループ基礎利益	(百万円)	623,217 (+14.1)	638,933 (+2.5)	4,200億円程度の見込
うち国内グループ生保合算値	(百万円)	525,252 (+17.5)	532,419 (+1.4)	3,100億円程度の見込
うち第一生命	(百万円)	480,556 (+13.8)	496,407 (+3.3)	3,000億円程度の見込
うち第一フロンティア生命	(百万円)	58,501 (+44.2)	43,952 (△24.9)	減少の見込
うちネオファースト生命	(百万円)	△13,806 (-)	△7,940 (-)	マイナスの見込
うち海外グループ生保合算値	(百万円)	89,685 (+1.8)	106,618 (+18.9)	横ばいの見込
うちプロテクティブ	(百万円)	54,043 (△9.8)	48,567 (△10.1)	横ばいの見込
うちTAL	(百万円)	26,429 (+48.3)	38,391 (+45.3)	横ばいの見込
うち第一生命ベトナム	(百万円)	7,393 (△2.6)	17,794 (+140.7)	横ばいの見込
うちその他(アセットマネジメント事業等)	(百万円)	8,279 (△27.1)	△104 (-)	横ばいの見込

- (注) 1. グループ基礎利益は、第一生命、第一フロンティア生命、ネオファースト生命の基礎利益、プロテクティブの税引前営業利益、TALの基礎的な利益(税引前換算)、第一生命ベトナム、第一生命カンボジア、第一生命ミャンマーの税引前利益、関連会社の持分利益(税引前換算)等を合算し、グループの内部取引の一部を相殺した数値を掲載
2. 2023年3月期予想は、基礎利益の計算方法の改正を反映した予想値および同改正を適用した場合の2022年3月期実績に対する増減見込を掲載
計算方法の改正を適用した場合の2022年3月期実績: グループ基礎利益 5,501億円 うち国内グループ生保合算値 4,436億円
うち第一生命 4,076億円 うち第一フロンティア生命 439億円 うちネオファースト生命 △79億円
* ()内は前年同期比増減率

		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期予想
順ざや額(国内グループ生保合算値)	(億円)	2,135 (+859)	2,535 (+400)	縮小の見込
うち第一生命	(億円)	1,800 (+704)	2,195 (+395)	縮小の見込
うち第一フロンティア生命	(億円)	339 (+156)	345 (+6)	横ばいの見込
うちネオファースト生命	(億円)	△4 (△1)	△5 (△0)	横ばいの見込

- (注) 1. 負債の場合は逆ざや額
2. 2023年3月期予想は、基礎利益の計算方法の改正を適用した場合の2022年3月期実績に対する増減見込を掲載
計算方法の改正を適用した場合の2022年3月期実績: 順ざや額(国内グループ生保合算値) 1,647億円
うち第一生命 1,308億円 うち第一フロンティア生命 345億円 うちネオファースト生命 △5億円
* ()内は前年同期比増減率

		2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り(第一生命)	(%)	2.75	2.80	低下の見込
運用利回り(一般勘定)(第一生命)	(%)	2.36	2.41	減少見込み
平均予定利率(第一生命)	(%)	2.11	2.00	低下の見込

- (注) 2023年3月期予想における基礎利益上の運用収支等の利回り(第一生命)は、基礎利益の計算方法の改正を適用した場合の2022年3月期実績に対する増減見込を掲載

計算方法の改正を適用した場合の2022年3月期実績: 基礎利益上の運用収支等の利回り(第一生命) 2.48%

④基礎利益の内訳
(国内グループ生保合算値)

		2021年3月期	2022年3月期
基礎利益	(百万円)	525,252 (+ 78,398)	532,419 (+ 7,166)
順ざや額	(百万円)	213,530 (+ 85,963)	253,586 (+ 40,056)
最低保証に係る責任準備金の増減による影響	(百万円)	5,603 (△ 8,976)	△ 3,285 (△ 8,888)
保険関係損益	(百万円)	306,118 (+ 1,411)	282,117 (△ 24,000)

(注) 最低保証に係る責任準備金等を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因になり、戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になる * () 内は前年同期比増減実額

(第一生命)

		2021年3月期	2022年3月期
基礎利益	(百万円)	480,556 (+ 58,424)	496,407 (+ 15,850)
順ざや額	(百万円)	180,022 (+ 70,446)	219,538 (+ 39,516)
最低保証に係る責任準備金の増減による影響	(百万円)	74 (+ 137)	0 (△ 74)
保険関係損益	(百万円)	300,459 (△ 12,160)	276,868 (△ 23,590)
うち危険差益	(百万円)	293,801 (+ 18,444)	277,341 (△ 16,460)

* () 内は前年同期比増減実額

⑤準備金(国内グループ生保合算値)

		2021年3月末	2021年9月末	2022年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	38,097,540 (+ 499,989)	37,688,700 (△ 178,421)	37,709,833 (△ 387,707)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	35,536,747 (+ 366,855)	35,063,250 (△ 323,965)	35,126,389 (△ 410,357)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	2,560,792 (+ 133,133)	2,625,449 (+ 145,543)	2,583,443 (+ 22,650)
価格変動準備金	(百万円)	264,454 (+ 23,658)	276,246 (+ 24,143)	287,358 (+ 22,903)
危険準備金	(百万円)	712,999 (+ 19,807)	713,816 (+ 17,598)	715,990 (+ 2,990)
危険準備積立金	(百万円)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
価格変動積立金	(百万円)	0 (-)	0 (-)	0 (-)

(注) 危険準備積立金・価格変動積立金は、剰余金処分後の残高を記載

* () 内は前年同期比増減実額

⑥含み損益

		2021年3月末	2021年9月末	2022年3月末
有価証券	(百万円)	5,708,955 (+ 285,068)	5,921,174 (+ 138,297)	4,439,288 (△ 1,269,667)
うち国内株式	(百万円)	2,111,365 (+ 850,261)	2,338,584 (+ 659,388)	1,961,987 (△ 149,378)
うち国内債券	(百万円)	2,596,071 (△ 625,568)	2,544,083 (△ 353,893)	1,804,268 (△ 791,803)
うち外国証券	(百万円)	968,987 (+ 52,279)	1,003,629 (△ 188,978)	635,574 (△ 333,412)
不動産	(百万円)	356,262 (+ 23,610)	374,214 (+ 29,316)	487,642 (+ 131,380)
その他共計	(百万円)	6,076,139 (+ 274,026)	6,311,980 (+ 150,146)	4,913,360 (△ 1,162,779)

(注) 1. 不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価前の水準

2. 第一生命の実績を掲載

* () 内は前年同期比増減実額

⑦運用実績

		2021年度実績
国内株式	(百万円)	△ 276,395
国内債券	(百万円)	662,668
外国株式等	(百万円)	△ 68,110
外国債券	(百万円)	△ 1,191,080
不動産	(百万円)	44,178

(注) 第一生命の実績を貸借対照表価額ベースで掲載

⑧資産の含み損益がゼロになる水準

		2022年3月末時点
国内株式(日経平均)	(円)	11,000
国内株式(TOPIX)	(ポイント)	770
国内債券	(%)	0.8
外国証券	(円)	107

(注) 1. 国内株式は日経平均およびTOPIXに連動させ、株式の評価基準にあわせて算出

2. 国内債券は10年新発国債利回りで換算し、小数点第1位まで算出

3. 外国証券はドル円換算にて算出

4. 第一生命の水準を掲載

⑨2023年3月期の業績見通し

		2023年3月期予想
連結保険料等収入		横ばいの見込
グループ基礎利益		4,200億円程度の見込
保有契約年換算保険料(グループ)		横ばいの見込
保有契約高(国内グループ生保合算値)		減少の見込

(注) グループ基礎利益は、基礎利益の計算方法の改正を反映した予想値を掲載

⑩社員数

		2021年3月末	2021年9月末	2022年3月末
営業職	(人)	44,818 (+ 0.9)	43,564 (△ 3.1)	41,470 (△ 7.5)
内勤職	(人)	10,939 (+ 0.4)	11,265 (+ 0.8)	10,914 (△ 0.2)

(注)1. 社員数(営業職)には、当社と委任契約を締結しかつ生命保険募集人登録をしているもので、その他補助的業務に従事するものを含む

* ()内は前年同期比増減率

2. 第一生命の実績を掲載

⑪配当の状況(2022年3月期決算に基づく配当準備金繰入額)

		2021年3月期決算に基づく 配当準備金繰入額	2022年3月期決算に基づく 配当準備金繰入額
個人保険	(百万円)	15,958 (△ 19.1)	17,355 (+ 8.8)
個人年金	(百万円)	0 (—)	0 (—)
団体保険	(百万円)	59,080 (+ 5.3)	58,796 (△ 0.5)
団体年金	(百万円)	763 (△ 84.8)	9,709 (—)

* ()内は前年同期比増減率

⑫金融機関窓販の状況(第一生命と第一フロンティア生命の合算値)

			2021年3月期	2022年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	7,502 (+ 54.0)	3,069 (△ 59.1)
	金額(収入保険料)	(百万円)	32,291 (+ 31.3)	15,442 (△ 52.2)
定額年金保険	新契約件数	(件)	22,382 (△ 53.5)	47,652 (+ 112.9)
	金額(収入保険料)	(百万円)	119,245 (△ 50.1)	299,397 (+ 151.1)

(注). 金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

* ()内は前年同期比増減率

			2021年3月期	2022年3月期
変額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	354 (△ 48.8)	286 (△ 19.2)
	金額(収入保険料)	(百万円)	4,121 (△ 47.3)	3,935 (△ 4.5)
定額一時払 終身保険	新契約件数	(件)	44,827 (△ 16.5)	45,039 (+ 0.5)
	金額(収入保険料)	(百万円)	360,058 (△ 15.4)	439,372 (+ 22.0)

(注). 金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

* ()内は前年同期比増減率

			2021年3月期	2022年3月期
定額一時払 養老保険	新契約件数	(件)	3,596 (△ 44.4)	1 (△ 100.0)
	金額(収入保険料)	(百万円)	59,097 (△ 42.1)	5 (△ 100.0)

(注). 金融機関とは銀行、証券会社、信託銀行、信用金庫

* ()内は前年同期比増減率

その他質問項目(2022年3月期)

○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金繰入・戻入の状況

			2021年3月期	2021年9月期	2022年3月期
変額年金保険等の 最低保証に係る 一般勘定の 責任準備金繰入・戻入	第一生命	(億円)	△ 0	0	0
	第一フロンティア生命	(億円)	△ 55	17	32
	第一、第一フロンティア合算値	(億円)	△ 56	17	32

(注). 繰入額についてはプラスで表示、戻入額についてはマイナスで表示